

取扱説明書

JP • 85924-01 • 1022

目次

1	ご使用になる前に	5	6.5.2	性能レベルを選ぶ	31
2	製品の概要	6	6.5.3	ブーストボタン	31
2.1	充電式コードレスホームケ		6.6	スマートホーム: Bluetooth®	
	アシステムと付属アタッチ メント及びアクセサリー	6		(ブルートゥース)と アプ リ MyKobold (マイコーボ	
2	使用上の規定	8		ルト)	32
3		0	6.6.1	アプリ マイコーボルトを	
4	安全にお使いいただくために	11		インストールし、ペアリン	
4.1	使用上の危険・注意			グする	
4.2	警告表示の構成		6.7	連続稼働時間	33
4.3	使用者の責任		6.8	充電式コードレスクリーナ ーを収納する	33
5	様々なフロアの種類に対す		6.9	運送する	
	る適正	23	6.9.1	トランスポートモードに設	
6	コーポルトVK7 充電式コ		0.0.1	定する	35
	ードレスクリーナー		6.10	初期設定に戻す	35
6.1	製品の概要		6.11	メンテナンス	36
6.2	初めに		6.11.1	スペアパーツと消耗品	36
6.2.1	回転ハンドルの開け閉め	25	6.11.2	フィルターユニットカバー	
6.2.2	アタッチメントの取り付け			の開け閉め	36
	と取り外し		6.11.3	プレミアムフィルターバッ	
6.2.3	停止ポジション			クの装着と交換	37
6.3	充電		6.11.4	充電バッテリーを取り出す	40
6.3.1	初回の充電に	27		又は交換する	40
6.3.2	様々な充電器を充電する	27	6.11.5	モーター保護フィルターの 取り出し、お手入れと装着	40
6.3.3	充電器で充電する	28	0.44.0		
6.3.4	個々の充電式バッテリーを		6.11.6	芳香剤を交換する 技術仕様	
	充電器で充電する				43
6.4	ディスプレイ表示	29	6.12.1	充電式コードレスクリーナ ー	43
6.4.1	充電表示	29	6 12 2	充電器	
6.4.2	システム表示と性能表示	29			44
6.5	操作	30	7	コーボルト EB7 パワーブラシ	45
6.5.1	スイッチをオン・オフにす		7.1	製品の概要	
	る	30			

7.2	様々なフロアの種類に対す	40	8.6	操作	60
7.3	る適正 操作		8.6.1	加湿レベルを選ぶ	60
			8.6.2	加湿レベルについて	61
7.3.1 7.3.2	性能レベルを選ぶ 性能レベルとブラシモード について		8.6.3	ウェットレベル使用上の推 奨	62
700	ブーストキャップを有効に	41	8.6.4	床拭き/吸引クリーニング	63
7.3.3	する	48	8.6.5	クリーニングクロスを交換 する	64
7.3.4	パーソナルクリーニング調 整	49	8.6.6	収納	
7.3.5	停止ポジション	49	8.6.7	クリーニングクロスの洗濯	64
7.3.6	パワーブラシで吸引する		8.7	メンテナンス	65
7.3.7	使用上の注意		8.7.1	スペアパーツと消耗品	65
7.4	メンテナンス	50	8.7.2	シールリップフレームの取 り外し	65
7.4.1	スペアパーツと消耗品	50	8.7.3	シールリップフレームの取	00
7.4.2	テストとクリーニング	50	0.7.0	り付け	66
7.4.3	ローラーブラシを交換する	52	8.7.4	タンクを掃除する	66
7.4.4	後部のリップを交換する	53	8.8	技術仕様	66
7.5	技術仕様	53	9	コーポルト HD7 ハードフロ	
8	コーポルト SP7 床拭き/吸引		0.4	アノズル	
0.4	兼用クリーナー		9.1	製品の概要 様々なフロアの種類に対す	67
8.1 8.2	製品の概要様々な床の種類に対するク	54	9.2	(なくな ノロ ア の 性 類 に 刈 9 る 適 正	68
0.2	リーニングクロスの適正	55	9.3	操作	69
8.3	クリーニングクロス	56	9.3.1	シールリップを引き出す	69
8.4	コボクリーン		9.3.2	性能レベルを選ぶ	69
8.5	お掃除モードにする	57	9.3.3	性能レベルについて	
8.5.1	停止ポジション	57	9.3.4	ハードフロアを吸引掃除す	. •
8.5.2	クロスキャリアを外す	58	3.5.4	る	70
8.5.3	クリーニングクロスをクロ		9.4	メンテナンス	70
	スキャリアプレートに固定 する	58	9.4.1	スペアパーツと消耗品	71
8.5.4	タンクを取り出し、洗剤を		9.4.2	詰まったゴミをとり除く	71
	入れて装着する	59	9.4.3	ブラシプレートを取り換える	71
8.5.5	クロスキャリアプレートを 取り付ける	60	9.5	技術仕様	

10	コーボルト PB7 寝具・布製 品用 電動パワーブラシとコ		11.4.3	別の充電式バッテリーをプレミアム充電器で充電する 86
	ーポルトMP7/MR7 マットレスクリーニングセット	70	11.5	技術仕様
10.1	製品の概要		12	コーポルト 付属アタッチ メント及びアクセサリー 88
10.2	操作	74	12.1	ノズルアソートメント 88
10.2.1	性能レベルとラベニアモー ドについて	74	12.2	アタッチメントのロック解 除89
10.2.2	布張り家具、布製品のお掃 除	75	12.3	コーボルト SG7 ショルダー ストラップ 90
10.2.3	布張り家具表面などのお掃 除	75	13 13.1	ト ラブルシューティング 91 エラーコードによるトラブ
10.2.4	継ぎ目や溝のお掃除			ル発生91
10.2.5	マットレスのお掃除	75	13.2	問題の対処方法によるトラ ブルシューティング 95
10.3	メンテナンス	78	14	保証105
10.3.1	スペアパーツと消耗品	78	15	廃棄処理
10.3.2	寝具・布製品用電動パワー ブラシのメンテナンス	79	15.1	電気電子機器の廃棄処理105
10.3.3	マットレスフレッシュナー キットのお掃除	80	15.2	充電式バッテリーの廃棄処 理105
10 3 4	マットレス吸引アタッチメ	00	15.3	プレミアムフィルターバックの処理方法106
10.0.1	ントのお掃除	81	15.4	梱包材の廃棄106
10.4	技術仕様	81	16	アフターサービス106
11	コーボルト PC7 プレミ アム充電器	83	17	製造会社106
11.1	製品の概要		18	コンプライアンス宣言107
11.2	接続ケーブルをつける	84		
11.3	壁面への取り付け	84		
11.3.1	壁面に吊るして設置する場 所について	84		
11.4	プレミアム充電器で充電す る	85		
11.4.1	初めてプレミアム充電器で 充電する	85		
11.4.2	充電式コードレスクリーナ ーをプレミアム充電器で充 電する	85		

1 ご使用になる前に

ホームケアシステム Kobold VK7 をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

- 1. 本機器とアタッチメントを初めてご使用になる前に、この取扱説明書を良くお読みください。
- 2. 以下の章に詳述の使用上の注意に従ってご使用ください。

2 製品の概要

2.1 充電式コードレスホームケアシステムと 付属アタッチメント及びアクセサリー



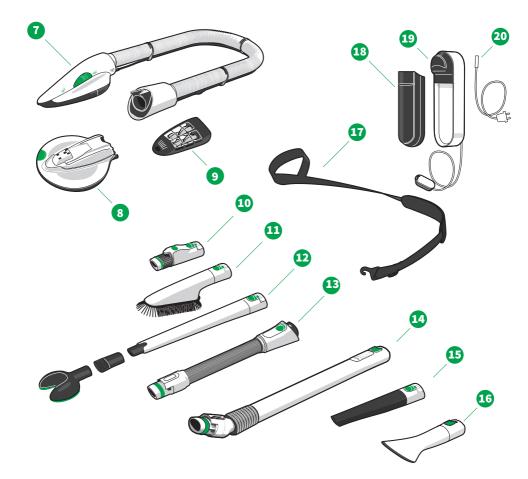
Kobold VK7 充電式コードレスホームケアシステムと付属アタッチメント及びアクセサリー について

- 1. Kobold VK7 充電式コードレスクリー ナー 本体
- 4. Kobold HD7 ハードフロアノズル

2. Kobold EB7 パワーノズル

- 5. Kobold SC7 充電器
- 3. Kobold SP7 床拭き/吸引兼用 ハードフロアクリーナー
- 6. Kobold CA7 充電アダプター

付属品のタイプと内容は梱包セットによって異なります。各付属品はオプションとしてお求め可能です。本取扱説明書で表示されているイラストは機器の機能とアクセサリーの確認にお役立てください。記載の図やイラスト描写の詳細、寸法等は実物と異なる場合があります。プラグのイラストはあくまでも例として記載されています。実際の製品は国により異なります。



アタッチメント及びアクセサリーについて
14. Kobold TR7 延長パイプ
15. Kobold CD7 自動車用カーノズル
16. Kobold TD7 テキスタイル用ノズル
17. Kobold SG7 ショルダーストラップ
18. Kobold BY7 バッテリー
19. Kobold PC7 プレミアム充電器
20. プレミアム充電器 Kobold PC7用ケー ブル Kobold ネットケーブル

使用上の規定 3

こちらの取扱説明書は今後のため大切に保管してください。他 の方に譲渡される場合には、必ず本書を製品と共にお渡しくだ さい。

ご使用者や第三者の危険並びに機器とその他の財産損害を避け るため、機器とその付属品は適切に指定通りにご使用くださ (1)

本製品は安全について責任を負うことが出来る保護者及び監督 者の立会の指導の下でお使いいただく場合以外は、身体的、知 覚的及び精神的に障害のある方、又は経験や知識の乏しい方 (お子様を含む)の使用は想定されておりません。

またお子様の安全の為に保護者の方はお子様が本製品や充電器 等(ケーブルとコンセントを含む)で 遊ばないようご注意願い ます。

指定以外のご使用、その他のご利用はおやめください。そうし た結果として生じた損害や製品の技術的変化における保障、欠 陥に対する賠償責任について製造会社はいずれも負いません。 また製品に故意に技術的な変化を与えた場合、製造会社による 部品交換責任そしてその場合の欠陥製品の販売者の製造物賠償 責任は失効します。

全機器のお手入れには付属の使用説明書並びに機器の表示に従 い行って下さい。不適切な使用により生じた損害に製造会社は 一切責任を負いません。

本製品はフォアベルク社の認可組織によって販売されることに より、日本国内の安全基準を満たしています。本製品を日本以 外の国で使用する場合には、必ずしもその現地の安全基準に従 っているとは限りません。当社ではこうした使用に伴って生じ る安全性に関するリスクに対して一切の責任を負いかねますこ とを予めご了承ください。

Kobold VK7充電式コード 本コードレスクリーナーは一般家庭における室内での掃除のみ レスクリーナー 本体 を想定して設計されております。また小規模な店舗またはオフ ィス、同ホテル及び旅館のゲストルーム、ペンション等の施設 でもご使用いただけます。本コードレスクリーナーにはフォア ベルクKobold の正規付属品以外は使用しないでください。

Kobold EB7パワーノズル

Kobold EB7パワーノズルはご家庭の床とカーペットのクリーニ ングのお掃除にのみご使用ください。 Kobold EB7パワーノズル はKobold VK7 充電式コードレスクリーナーとのみ接続してご使 用ください。 Kobold EB7パワーノズルは 様々なフロアの種類に 対する適正 [▶ 23]にお使いいただけます。以下に記述のカーペ ットと床タイプにはご使用にならないでください: 皮、フロカテ ィ、コーティングのないコルク板、コーティングのない軟木材 の床、ベルギッシュ天然石、傷つきやすい天然石、粗いコンク リート床(骨材露出コンクリートなど)

Kobold SP7床拭き/吸引兼 Kobold SP7床拭き/吸引兼用クリーナー は、家庭のハードフロア 用 ハードフロアクリーナ のクリーニングに限定してお使いください。 Kobold SP7床拭き/ 吸引兼用クリーナー は必ず Kobold VK7充電式 コードレスクリ ーナー とセットでお使いください。本クリーナーは 様々なフロ アの種類に対する適正 [▶ 68]にお使いになれます。

> 本クリーナーは、水拭き掃除に適したフロア用となっておりま す。次の床タイプは決して 水拭き使用しないようにしてくださ い:コーティングのないコルクフローリング、コーティングの ないタイル床、コーティングのないソフトウッドフローリング

Kobold HD7 ハードフロ アノズル

Kobold HD7 ハードフロアノズルは、家庭のハードフロアのクリ ーニングに限定してお使いください。 Kobold HD7ハードフロア ノズル は Kobold VK7 充電式コードレスクリーナー とのみ接続 してご使用ください。本ノズルは様々なフロアの種類に対する 適正 [▶ 23]の表に記載のハードフロアでのご使用に限定されて おります。

Kobold PB7 寝具・布製品 用 電動パワーブラシ

Kobold PB7 寝具・布製品用電動パワーブラシはご家庭でのクリ ーニング用としてご使用ください。 Kobold PB7は Kobold VK7 充電式コードレスクリーナーとのみ接続してご使用ください。 本パワーブラシは布張り製品・家具のクリーニング専用となっ ております。

Kobold MP7/MR7 マット レスクリーニングセット

Kobold MP7/MR7マットレスクリーニングセットは Kobold VK7 充電式 コードレスクリーナー、 Kobold PB7 寝具、布製品用電 動パワーブラシとのみ接続してご使用ください。マットレスク リーニングセットはマットレスのクリーニング専用です。こち らは布張り製品・家具には適しておりません。

Kobold 付属アタッチメン ト及びアクセサリー

伸縮自在の Kobold SB7 フレックスホース、 Kobold FD7 床表面 用ノズル、Kobold VD7ノズルセット、Kobold TR7 延長パイプ KoboldCD7 自動車用ノズル、Kobold TD7 テキスタイル用ノズル 並びに Kobold SG7ショールダーストラップ、そして KoboldAD7 前モデルのアクセサリー互換用接続アダプターは KoboldVK7 充電式コードレスクリーナーとのみご使用になれま す。アタッチメント及びアクセサリーは様々なタイプのお掃除 に適しています。ショールダーストラップは大人用です。 様々 なタイプの表面のクリーニングでは、充電式コードレスクリー ナーを安全に手で持つか或いは肩に下げるか、又は安全な場所 に置いて下さい。

Kobold PC7 プレミアム充 Kobold PC7 プレミアム充電器は Kobold VK7 充電式コードレス 電器 クリーナーとのみご使用になれます。 Kobold PC7 プレミアム充 電器は Kobold VK7 充電式コードレスクリーナー と予備の充電 用バッテリーの充電にご使用ください。 Kobold PC7 プレミアム 充電器の屋外での充電及びご使用はおやめください。また湿度 をお避け下さい。

Kobold SC7 充電器 Kobold SC7 充電器は Kobold VK7 充電式コードレスクリーナー とのみご使用になれます。 Kobold SC7 充電器は Kobold VK7 充 電式コードレスクリーナー の充電用にご使用ください。 Kobold CA7充電アダプターの使用により、予備のバッテリーを充電することが出来ます。 Kobold SC7 充電器の屋外での充電及びご使用はおやめください。また湿度をお避け下さい。

4 安全にお使いいただくために

フォアベルク社では製品をできるだけ安全にお使いいただけるよう常に最善をつくしております。本製品を安全にご使用いただくために本章の注意をお守りください。

4.1 使用上の危険・注意

♠ 警告

感電の恐れあり!

本製品を使用上の規定に沿わず使用された場合、感電を引き起こす場合があります。

- 電流接触部には絶対に先の尖った物体を挿入しないでください。
- 電流接触部を変形させないでください。

感電や火事の恐れあり!

素人の手による機器とそれに属する充電器或いは充電装置の修理は感電や火事の原因を引き起こす事があります。

- お買い上げの機器の修理は決してご自身で行わないでください。
- 電気機器の修理は危険を回避するために必ずフォアベルクの サービスセンター、認可工場、または同等の資格を持つ人 物に依頼してください。
- 壊れた部品は危険を避けるため正規部品と交換してください。
- 損傷が見つかった場合には、フォアベルク カスタマーサー ビスまでご連絡ください。
- 充電器等は専門家のみによって適切に取り付けられたコンセントでお使いください。
- 充電器を開けようとしたり、ご自身で修理しようとしないでください。充電器内部に電気を通す部品があり、それは整備可能な部品ではありません。

感電の恐れあり!

お手入れする際にまだ充電器がコンセントに入っている場合、 感電を引き起こす場合があります。

• 充電器又は充電装置のコードをクリーニング前にコンセントから引き抜いてください。

感電や火事の恐れあり!

充電式コードレスクリーナーがケーブル上を走行した場合、感 電を引き起こす可能性があります。

• 充電式コードレスクリーナーを床にあるケーブル上を走らせ ないでください。

感電の恐れあり!

コードを強く引っ張ると破損する場合があります。

- 電源プラグをコードを持って引き抜くのではなく、コンセントにある電源プラグ自体を持って引き抜いて下さい。
- 充電器等をコードから持ってぶら下げないでください。

感電の恐れあり!

電気を通す部品に水がついた場合、感電する可能性があります。

- 充電器等を絶対に水や液体クリーナー、或いは濡らしたクリーニングクロスで掃除しないでください。
- 濡れた場所では充電器等を使用しないでください。
- 絶対に充電器等を水や液体などに入れないでください。
- 絶対に水を充電器等の上に振りかけないでください。
- 充電器等を流れ出る水の下にかざさないでください。
- 充電器等を濡れた手で持たないでください。

感電の恐れあり!

壁に留め金用の穴をあける際に感電することがあります。

• 壁に穴をあける際に(特にコンセント付近や電気のスイッチ)電気線上を穿たないようご注意ください。

爆発の恐れあり!

充電式パッテリーや充電式コードレスクリーナーの不適切な取 扱は爆発を引き起こすことがあります。

- 本充電式コードレスクリーナーにはそれに合ったフォアベル ク社の正規の充電式バッテリーのみをご使用ください。
- 絶対に充電式バッテリーを開けたり、修理したり、変更しようとしたりしないでください。壊れた充電式バッテリーはフォアベルク社の新しい正規品充電式バッテリーと交換してください。
- 充電式バッテリーが損傷した場合、それ以上使用しないでく ださい。

爆発の恐れあり!

洗剤の不適切な使用は有害反応を引き起こすことがあります。

- 油性、刺激のある溶剤、漂白剤や爆発性あるいは発火性のある洗剤はご使用にならないでください。
- これらの洗剤をクリーナーのタンクに入れないでください。
- 異なった洗剤やメンテナンス剤をミックスしないでください。

爆発又は火災の危険 あり!

火気の元を置きっぱなしにしたり、電源アダプターを覆ったり、規定通りに使用しない場合、本機器が燃え出すことがあります。

- 充電式コードレスクリーナーと全ての付属品(特に充電式バッテリー)を火中に置くこと或いは外的要因による加熱は絶対におやめください。
- 充電式コードレスクリーナーと全ての付属品(特に充電式バッテリー)を床に落とし、明らかに損傷或いは機能障害のあることが確認された場合には、充電式コードレスクリーナーの使用を中止してください。
- 決して充電式バッテリーを例えばバッテリー端子に接触している金属物でショートさせないでください。
- 電源アダプターが何かで被さらないようご注意ください。

爆発又は火災の危険 あり!

充電不可能なバッテリーの充電は火災や爆発を引き起こすこと があります。

充電式コードレスクリーナーにはそれに合ったフォアベルク 社の正規品バッテリーのみをご使用ください。

爆発又は火災の危険 あり!

燃えている、又は軽く炎上している物が充電式コードレスクリーナーの内部に入った場合、それが火事や爆発を引き起こす場合があります。

- 熱い灰やまだ火が消えてないタバコの吸殻を絶対に吸いとらないでください。
- 爆発性あるいは発火性のある物を吸い込まないでください。

火災発生の恐れあり!

間違った充電器の使用で充電バッテリーが破損し、火災を引き 起こすことがあります。

• 本充電式コードレスクリーナーにはフォアベルク Kobold の 正規付属品のみをご使用ください。

火災発生の恐れあり!

充電式パッテリーの中に水が入った場合、火災の原因となることがあります。

- 充電式バッテリーを絶対に水や液体クリーナー、又は濡らしたクリーニングクロスで掃除しないでください。
- 充電式バッテリーを水や他の液体から遠ざけて下さい。

火災発生の恐れあり!

Kobold 充電式コードレスクリーナーとアタッチメントはフォアベルク社のコード付きクリーナー及びそれらのアタッチメントとは互換性がありません。

• 充電式コードレスクリーナーやそのアタッチメントをコード 付きクリーナーのシリーズ及びにそれらの電動式アタッチメ ントと使用することは絶対にお避け下さい。

火災発生の恐れあり!

導電する場所がひどく汚れていると、短絡(ショート)を引き 起こす可能性があります。短絡電流は火災を誘発する可能性が あります。

• 充電器は電流から離し、充電プラグを乾いたクリーニングクロスや、必要であればほんの少しだけ濡らしたクリーニングクロスで掃除してください。

火災発生の恐れあ り!

運送中の充電式コードレスクリーナー及び充電式バッテリーの 不意な触発や活性化は発熱から火災に至ることがあります。

• 安全な運送を保証する為、取扱書に記載の指示に従って下さい。

のどに詰まる恐れあり!

小さな部品は気道に入り込み、喉を詰まらせる可能性があります。

- 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーのクリーニングクロスの緑色の装着部がきちんとついているか、確認してください。そして緑色の装着部が取れている場合、それを交換するよう定期的にチェックしてください。
- 芳香剤などの小さな部品はお子様の手の届かないところに保 管してください。

火傷の危険がありま す!

熱水又は沸騰したお湯で火傷をする場合があります。

熱水或いは沸騰したお湯をハードフロアクリーナーのタンク に注がないでください。

⚠ 注意

火傷の危険がありま す!

水が充電プラグに入った場合、プラグが熱くなる場合がありま す

バッテリーを絶対に水や液体クリーナー、又は濡らしたクリーニングクロスで掃除しないでください。

低圧により吸い込ま れる恐れあり!

肌や髪の吸い込みは怪我の原因になることがあります。

- 身体部分や頭髪を絶対に吸い込まないでください。
- お子様やペットの近くで本機器を作動させないでください。

電動部分で怪我をする恐れあり!

電動部分(例えば、ローラーブラシや振動するクロスホールダー)で怪我をすることがあります。

- 付属品の付け替え、クリーニング、メンテナンス作業前には常に充電式コードレスクリーナーの電源を切ってください。
- 付属品の付け替え、お手入れ、メンテナンスの作業前には充電式コードレスクリーナーからアタッチメントを取り外して下さい。
- 電動部分と距離をとってください。
- 振動部分には絶対に指で触れないでください。
- 必要なアタッチメントなしで電動部品を扱わないでください。
- 寝具・布製品用電動パワーブラシが作動中にマットレスクリーニング用のアタッチメントを取り外さないでください。

電動部分で怪我をする恐れあり!

ハードフロア用ノズルの吸引ノズルはバネの作用により元のポジションに戻り、それで怪我をすることがあります。

- バネで戻る作用を考慮し、吸引ノズルと距離をとってください。
- 特にブラシプレートを取り除く際にはハートフロアノズルを 力任せに回しすぎないでください。

怪我や転倒の恐れあり!

充電式コードレスクリーナーに不適切な負担をかけると、転倒 する恐れがあります。

- 充電式コードレスクリーナーを、アタッチメントを装着した状態で水平な床面に置いてください。
- 決して充電式コードレスクリーナーでご自身の体を支えない でください。
- 決してノズル部分にのらないでください。

放置状態での作動は 怪我の危険を引き起 こします。

放置した充電式コードレスクリーナーは他の人を傷つけること があります。

充電式コードレスクリーナーから目を離す際はクリーナーの スイッチを消してください。

皮膚と目に害を及ぼす危険あり!

充電式パッテリーの液漏れは怪我の原因になることがあります。

- 電解液が漏出している充電式バッテリーを皮膚と目を保護しないで触るのはやめて下さい。
- 液漏れした充電式バッテリーが皮膚、眼や粘膜に触れないよう注意してください。
- 間違って触ってしまった場合には、手をしっかりと洗い、きれいな水で眼や粘膜を洗い流してください。
- それでも体の不調を覚える場合は医師の診断を仰いでください。
- バッテリーの液漏れがついてしまった服やテキスタイルは、 すぐにしっかり洗うか、または処分してください。

プラスチックが損傷 して尖った部分で怪 我をする恐れあり!

折れたプラスチックが尖っていて怪我をすることがあります。

- 落下や衝突によってプラスチック部品が損傷している場合 は、本機器を使用しないでください。
- 尖った欠片に接触しないよう注意してください。

吸引口から飛び散ったごみ等で怪我をする恐れあり!

飛び散ったゴミで怪我をすることがあります。

- 大き目のゴミ(例:ガラスの破片)、特に目の高さにある物に急に吸引口を向けて吸わせることはお避け下さい。
- アタッチメントをサイド方向に、大き目のゴミ(例: ガラスの破片)の傍で走らせることはお避け下さい。
- アタッチメントを持ち上げる前にスイッチをお切りください。
- 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーで目の高さの所を 掃除しないでください (階段や台の上など)。

怪我の恐れ!

床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーは床掃除専用です。天 井又は壁に使用した場合、クリーナーの頭部が外れ、使用者の 上に落下する可能性があります。

- 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーは水平の床専用に ご使用ください。
- 垂直面や頭上面での使用はお控えください。

不適切な使用により アレルギー対策効果 の損失と損傷の恐れ あり!

不適合なまたは破損したフィルター材料は細かいアレルギーを 引き起こす粒子をフィルター内に留め置くことが出来ません。

- そのためには充電式コードレスクリーナーをご使用の際には フォアベルク社の Kobold 正規オリジナル製品のみをご使用 ください。
- 使用済みの Kobold プレミアムフィルターを再度使用しない でください。
- 本充電式コードレスクリーナーにはフォアベルク社の正規品 Kobold オリジナル製品のプレミアムフィルターのみをご使 用ください。

(!) 注意

不適切な使用での損傷のリスクあり!

本充電式コードレスクリーナーがベストな状態でない場合、損傷を引き起こす事があります。

- そのためには充電式コードレスクリーナーのご使用にあたり、指定の正規オリジナル製品をご使用ください。
- アダプターケーブルが損傷している場合や本充電式コードレスクリーナーが完全に組み立てられていない場合は、使用しないで下さい。

不適切な使用による 損傷の恐れあり!

不適切な充電装置の使用は本製品に損傷を引き起こす事があります。

- 充電式コードレスクリーナーの充電にはフォアベルク社の正 規オリジナル充電器或いは電源コードと充電装置のみをご使 用ください。
- 充電器等は必ず銘板に記載された交流電圧と電源周波数で扱ってください。

不適切な使用による損傷の恐れあり!

不適切なデバイスの使用はデバイスに損傷を引き起こす事があります。

• クリーニング中は絶対に通気口が塞がらないようにして下さい。ロボットからエアーフローを低下させる汚れを取り除いてください。

バッテリー損傷の危 険!

間違ったバッテリーの使用でバッテリーが損傷することがあり ます。

• 過放電とそれに伴うバッテリー寿命の短命化を防ぐため、本 充電式コードレスクリーナーは最低でも年に一回は完全充電 を行ってください。

バッテリー損傷の危険!

過度の暑さや寒さは充電時間を短縮し、或いはバッテリーの故 障を招く原因になることがあります。

- 本充電式コードレスクリーナーを火気、熱気や直射日光に当てないでください。
- 本充電式コードレスクリーナーを熱源の近くに置かないでください(コンロ、ヒーターや暖房器具など)。
- 本充電式コードレスクリーナーは5~35 ℃の温度の所で充電またはご使用ください。
- 本充電式コードレスクリーナーは5~35 ℃の温度の所に保管 してください。

機器損傷の危険あり!

充電式コードレスクリーナーの内部の湿気が損傷の原因を引き 起こす事があります。

- 湿気のある物や濡れたごみを吸い取らないでください。
- 濡れた玄関マットやカーペットを吸い込まないでください。
- 充電式コードレスクリーナーを水気のある環境(濡れている 浴室や戸外など)、または水気に触れる危険がある場所で使 用しないでください。
- 充電式コードレスクリーナーの上で水を振りかけたり、流れる水の下に差し出さないでください。絶対に本器を水や液体などに入れないでください。
- 充電式コードレスクリーナーを戸外に収納しないでください。
- 充電式コードレスクリーナーを湿気から守り、保管ください。

間違ったお手入れに よる損傷の危険あ り!

不適切なお手入れで充電式コードレスクリーナーを損傷することがあります。

- 充電式コードレスクリーナーを絶対に水や液体クリーナー、 又は濡らしたクリーニングクロスでお手入れしないでください。
- ブラシローラーは絶対に水洗いしないでください。必要であれば乾いたクリーニングクロスやほんの少しだけ濡らしたクリーニングクロスでお手入れしてください。ブラシローラーは食器洗い機にも適しておらず、防水加工も施されておりません。
- 充電式コードレスクリーナーのお手入れには研磨スポンジ、 研磨剤又はきつい洗剤、例えばベンジンやアセトンを使用し ないでください。
- 充電式コードレスクリーナーのお手入れに漂白剤の使用はお やめください。

不適切な使用による損傷の恐れあり!

フィルター部に湿気がある場合、充電式コードレスクリーナーが損傷することがあります。

- フィルター部が湿ってきた場合には、次の使用前に乾かして ください。
- プレミアムフィルターバックを取り換え、モーター保護フィルターを乾かしてください。

不適切な使用による 損傷の恐れあり!

不適切に乾かしたモーター保護フィルターは損傷の原因になる ことがあります。

• 濡れたモーター保護フィルターは装着する前に、温かい場所で24時間乾かして下さい。

不適切な使用による 損傷の恐れあり!

本充電式コードレスクリーナーがベストな状態でない場合、損傷を引き起こす事があります。

• 本充電式コードレスクリーナーは正規のモーター保護フィルターでのみご使用ください。

不適切な使用による損傷の恐れあり!

不適切な機器の使用は床に損害を引き起こす事があります。

- 電動で作動するサクションアタッチメントで長時間一箇所を お掃除することはお避け下さい。
- 床の損傷を避けるため、傷付きやすいハードフロアとカーペットフロアはブラシの回転数を低くするか、あるいは無効にしたパワーブラシでお掃除してください。
- 床のお掃除をパワーブラシでする場合、床に対し斜め横に動かさないでください。それにより、掃除跡が残る可能性があります。
- 目の粗いカーペット/房での使用は避けるか、或いはパワー ブラシを作動させないで下さい。
- 床材メーカーの指示するクリーニング・お手入れ方法に従ってください。

不適切な保管は損害 を引き起こすことが あります。

床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナー内部やその周囲の継続 的な湿気は損傷の原因を引き起こす事があります。

- 本床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーを保管するときには、絶対に湿ったクリーニングクロスを装置したままにしないでください。
- 決してタンクに液体が残った状態で本クリーナーを保管しないでください。
- 毎使用後にタンク内の全ての水を捨ててください。

タンクの不適切な取付は損害を引き起こします!

床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーのタンクの不適切な取付は損害を引き起こすことがあります。

タンクを力ずくで装着したり、外したりしないでください。

床に傷がつく恐れあり!

不適切な床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーの使用は床に 損害を引き起こす事があります。

- 本床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーは必ずクリーニングクロスとセットで使用してください。
- 一箇所で10秒以上床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナー を使用しないでください。
- 濡れたクリーニングクロスを付けたまま床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーを30秒以上床の上に置かないでください。 デリケートな床で使用すると、床に損傷が生じる場合があります。
- クリーニングクロスを手動で濡らさないようご注意ください。クリーニングクロスは事前に湿らせると濡れすぎるので 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーを通してのみ湿らせるようにしてください。
- デリケートな床(オイル塗装コルク、オイル塗装パーケット、コーティング・オイル塗装済み石材のようなコーティングの耐久年数が短い床材など)を使用したフロアでの床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーのご使用は損傷を防ぐため、まずはクリーニング開始前に目立たない箇所でお試しください。
- 特別湿気に弱い床が濡れすぎている場合には、乾いたパーケット用クリーニングクロスやドライ用クリーニングクロスを使用し、お掃除ください。
- 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーに物が引っかかったり挟まったりした場合には、損傷を防ぐために直ちにクリーナーの電源スイッチを切ってください。

不適切な洗剤の使用 により物的損害が発 生します!

床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーの洗剤の不適切な使用 は損傷を引き起こすことがあります。

- Kobold フォアベルク社の正規洗剤のみをご使用ください。
- 酸性洗剤(ビネガークリーナーなど)や強アルカリ性洗剤 (塩素系漂白剤など)を使用しないでください。

先の尖った物体が床 を傷つけます!

クリーニングクロスの下にある尖った粒子が床を傷つけること があります。

• 電源を入れる前に、小石や猫砂などの顆粒物、その他先の尖った物体の上にクリーニングクロスが置かれていないことを確認してください。

クリーニングクロス を不適切に濡らす事 で損傷を招く恐れあ り!

ドライ用クリーニングクロスを濡らす事でクリーナーに損害を 与える場合があります。

• ドライクリーニングクロスを使用する場合には、濡れないようにしてください。

クロスキャリアホル ダーの不適切な取付 による損害あり!

床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーのクロスキャリアホル ダーの不適切な使用は損害を引き起こすことがあります。

- クリーニングクロスをクロスキャリアホルダーに固定するときは、必ずクロスがまっすぐ固定されるよう常にご注意ください。クリーニングクロスがクロスキャリアホルダーに極端に傾いて装着しないようご確認ください。
- クロスキャリアホルダーの取り付けと取り外しを力任せにしないでください。

ラベニアの不適合性 による損害危険あ り!

洗剤ラベニアの不適切な使用は損害を引き起こすことがあります。

• ご使用前に、マットレスの目立たない箇所にラベニアを少量塗布し、色の変化がないことを確認してください。

マットレスの損害危 険あり!

不適切なマットレスクリーニングセットの使用はマットレスの 損害を引き起こす事があります。

- 一箇所で長時間(最大5秒)にわたってクリーニングを行わないでください。
- マットレスはPB7で吸引しないで、マットレスを傷めないよう専用のマットレスサクションアタッチメントをご使用ください。
- ラベニアとマットレスクリーニングセットをマットレス専用 にお使いください。マットレスクリーニングセットはその他 の布張り家具向けではないため、これらに使用するとデリケートな素材を傷つける恐れがあります。
- マットレスのクリーニングをする際はマットレスフレッシュナーキット専用のアタッチメントをご使用ください。
- 機器をマットレスに強く押し付けないでください。機器の破損とマットレスの損害を起こす場合があります。

不適切な使用による損傷の恐れあり!

不適合なカーペット洗剤は機器に損害を与えることがあります。

• カーペットのお掃除はフォアベルク社製のコボサンアクティブのみを使用し、これが完全に乾いた後、吸い取ってください。

不適切な使用による損傷の恐れあり!

ノズル製品(Kobold 付属アタッチメント)の不適切な使用により床の表面を傷つける恐れがあります。

• ノズル製品を光沢のある、又は磨かれた床の表面に使用しないでください。

4.2 警告表示の構成

この取扱説明書の警告表示はセキュリティシンボルとシグナル ワードで表示されております。このシンボルとシグナルワード は高い危険度を示すものです。

警告表示の構成 各行為に付けられている警告表示は以下のように示されています。

警告



リスクの種類とその原因 リスクの種類とその原因/結果の説明

• リスク回避の為の処置

シグナルワードの意味

警告	この危険を避けられない場合の命に係わる、或いは重症のけが を負うリスク。
注意	この危険を避けられない場合の軽傷のけがを負うリスク。
注意	 この危険を避けられない場合の物損リスク。

セキュリティシンボルの意味



高危険度を示す警告表示

物損の表示

4.3 使用者の責任

本製品、フォアベルクのアタッチメントやアクセサリーの機能を完全にご利用されるためには、以下の点にご注意ください。

- 1. 取扱説明書と全ての付属仕様書をよくお読み下さい。
- 2. 取扱説明書を必要な時にすぐ見つけられる場所に保管してください。
- 3. 本製品の故障は製造会社に修理をお願い致します。

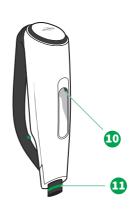
5 様々なフロアの種類に対する適正

カーペットの種類	Kobold EB7	Kobold SP7	Kobold HD7
ダフテッドカーペット, ベロアカーペット	++	-	-
ベルベットカーペット、毛足の長 いカーペット、軽めのルーズカー ペット、シルクカーペット、サイ ザル麻フロア	+		
革	-		
フロカティ	+*	_	
緩く結ばれたカーペット	+*	_	
長く捩った繊維によるカーペット	+*	_	
ヨガマット	+*		
ハードフロアタイプ			
塗料/ラックニスで施した板張りの 床 (廊下、パーケット)	++	++	++
オイル/ワックスで施した板張りの 床	+	++	+
塗料加工なし/無処理木材	-	- **	+
塗料加工のコルク床	++	++	++
オイル/ワックス加工のコルク床	+	- **	+
塗料加工なし/無塗装のコルク床	-	- **	+
ラミネート・フローリング	++	++	++
弾力のある床(ポリ塩化ビニー ル、クッションビニール、リノリ ウム)	+	++	++
石床 (大理石、花崗岩、ジュラストーン、人工石)	+	++	+
多孔性表面の/傷付きやすい自然石 (スレート、レンガ)	-	+	+
クレイタイル(テラコッタ、レン ガ、レンガ粘土など)	+	++	+
セラミックで光沢のあるタイルと 炻器タイル	++	++	++
無塗装のタイル張り床	-	- **	+
粗いコンクリート床(骨材露出コ ンクリートなど)	-	-	+
++ 非常に優れた適性	*	ブラシモードなし でのみ	ンでの Kobold EB7
+ とても優れた適正 - 使用不可	**	ドライクリーニン	ッ グのみ

6 コーボルトVK7 充電式コードレス クリーナー

6.1 製品の概要

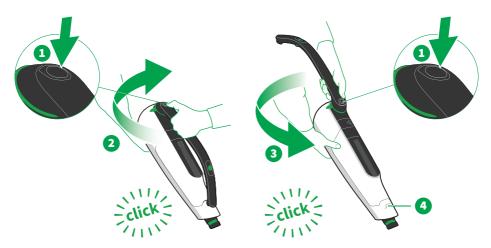




Kobold VK7 充電式コードレスクリーナー に	ついて
1. +/- ボタン	7. ディスプレイ付きバッテリー
2. オン/オフ・ボタン	8. フィルターカバー
3. ブーストボタン	9. 回転ハンドルのハンドルセキュリティ
4. 回転ハンドルのスライドボタン	10. 充電ポート
5. リモートロック アタッチメント用	
6. バッテリー/フィルターカバーのリリー スレバー	

6.2 初めに

6.2.1 回転ハンドルの開け閉め



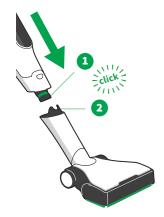
充電式コードレスクリーナーの回転ハンドルは配達時には閉じています。

- 1. 回転ハンドルを開けるためには、クリーナーのジョイント部分にあるスライドボタン(1)を押します。
- 2. そして回転ハンドルを時計回りにカチッと音が鳴るまで回します(2)。
- 3. 再び回転ハンドルを閉めるには、もう一度クリーナーのジョ イント部分にあるスライドボタン(1)を押します。
- 4. そして回転ハンドルを時計と反対回りにカチッと音が鳴るまで回します(3)。
- ⇒ 回転ハンドルはクリーナーの前部にあるハンドルセキュリティ(4)でカチッと止めます。

回転ハンドルを閉め終わった後、クリーナーは持ち運び可能になり、 ショルダーストラップ [▶90] で肩にかけても使用できます。このように床のお掃除に使用できます。 布張り家具、布製品のお掃除 [▶75], マットレスのお掃除 [▶75] 或いは ノズルアソートメント [▶88] をご参照下さい。

その上、充電式コードレスクリーナーは 保管 [▶ 33] と 充電 [▶ 27]に場所をとりません。

6.2.2 アタッチメントの取り付けと取り外し



アタッチメントの取り付け

取り付けはすべてのアタッチメント同様になっております。

- 1. 充電式コードレスクリーナーのアタッチメント装着部(1)をアタッチメントの連結部(2)に差し込みます。
- 2. その際に装着部がカチッと音が鳴ることを確認してください。



アタッチメントの取り外し

- 1. 再び充電式コードレスクリーナーをアタッチメントから取り外すには、まずコードレスクリーナーを床に置いて下さい。
- アタッチメントを回転ハンドルの上部にあるリモートロック (3)を上に押し上げ引っ張ります。
- ⇒ 解除後はコードレスクリーナーをアタッチメントから取り外します。

アタッチメントから充電式コードレスクリーナーを取り外すには、一方の足をアタッチメントの上に置いて抑えるようにします。そうするとアタッチメントから充電式コードレスクリーナーを簡単に取り外せます。

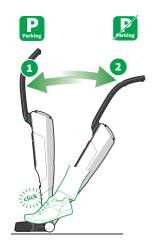
6.2.3 停止ポジション

アタッチメントを接続している状態で充電式コードレスクリーナーをお掃除ポジション(2)で使用するか或いは停止ポジション(1)に置くことが出来ます。

充電式コードレスクリーナーを使用しない場合、保管時にこの 停止ポジションをとります。その上クリーニングをちょっと中 断する場合、このポジションで「一時停止」させることが出来 ます。充電式コードレスクリーナーは停止ポジションで直立状 態になり、床にしっかり固定します。

停止ポジションの設定と解除

ここに記述のプロセスは パワーブラシ と ハードフロアノズルの み有効です。床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーの停止ポジションの設定と解除は, 停止ポジション [▶ 57]をご覧ください。



停止ポジションを設定する

停止ポジションは充電式コードレスクリーナーがまっすぐ正面 を向いているときにだけ設定できます。

- コードレスクリーナーを前に倒すように押してください (1)。
- ⇒ コードレスクリーナーが停止位置まで来ると、カチッと音が します。

停止ポジションを解除する

- アタッチメントを一方の足で抑え、カチッと音がするまで充 電式コードレスクリーナーを倒すように傾けます(2)。
- ⇒ これで充電式コードレスクリーナの停止ポジションが解除されました。

6.3 充電

6.3.1 初回の充電に

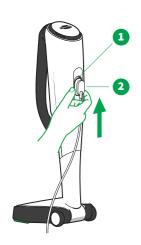
包装ラップをバッテリーから取り除きます。

その際まれにその直後、ディスプレイが表示する場合があります。これはほんの一瞬起こり、自動的に消えます。

6.3.2 様々な充電器を充電する

充電式コードレスクリーナーは 充電器 又は プレミアム充電器 で充電することが出来ます。

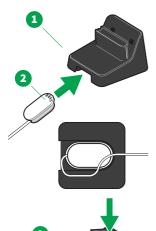
充電中コードレスクリーナーを使用しないでください。



6.3.3 充電器で充電する

- 1. 充電式コードレスクリーナーを 停止ポジション [▶ 26]にして下さい。
- 2. 指定の交流電圧の電圧にご注意ください。
- 3. 充電器を電源コンセントに差し込みます。
- 4. 充電コネクター(2)を下からコードレスクリーナーの充電ポートの中にいれてください(1)。
- ⇒ ディスプレイがつき、充電を開始します。

充電式コードレスクリーナーをプレミアム充電器で充電するには、プレミアム充電器で充電する [▶ 85]をご参照ください。



6.3.4 個々の充電式バッテリーを充電器で充電する

一つの充電式バッテリーを別に充電出来ます。例えば、予備の 充電式バッテリーを使用する場合にお勧めいたします。

- 1. 充電アダプター(1)が滑らないよう、清潔で安定した平面に置きます。
- 2. 充電コネクター(2)を充電アダプター(1)に差し込みます。
- 3. ケーブルを指定の説明に従い取り付けます。
- 4. 指定の交流電圧の電圧にご注意ください。
- 5. 充電器を電源コンセントに差し込みます。
- 6. 取り外した充電式バッテリーを充電アダプターに差し込みます。
- ⇒ ディスプレイがつき、充電を開始します。

6.4 ディスプレイ表示

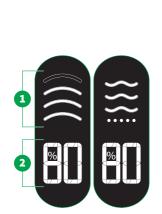


コードレスクリーナーを充電すると、ディスプレイは充電状態 を表示します。

- 1. ディスプレイ
- 2. パーセントで充電状態を表示 ここでは90 %: バッテリーは90パーセント充電しています
- 3. 点滅は充電中を表しています

充電が完全に終わると、スマイリーのマークが表示されます。2 分後ディスプレイが消えます。

充電時間は充電器の環境条件により異なりますが、およそ2時間です。



1

3

6.4.2 システム表示と性能表示

性能レベルとバッテリーの充電状態

- 性能レベル、或いは 床拭き吸引兼用ハードフロアクリーナー [▶ 60]の湿度レベル性能レベルの調整について、詳しくは 性能レベルを選ぶ [▶ 31] をご覧になってください。
- 2. パーセントで充電状態を表示 バッテリーの時間率について詳しくは 連続稼働時間 [▶33] をご覧ください。
- Er エラーコード 詳しくはトラブルシューティング [▶ 91] をご覧ください。

ディスプレイの表示は概数を表しています。





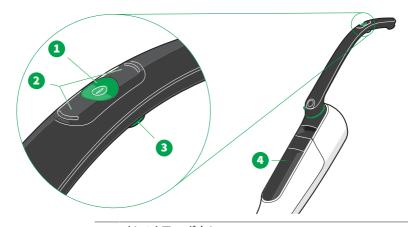




システム表示

- フィルター表示については プレミアムフィルターバックの 装着と交換 [▶ 37]をご参照ください。
- 三角表示板については トラブルシューティング [▶ 91]をご 2. 参照ください。
- Bluetooth®については スマートホーム: Bluetooth® (ブル 3. ートゥース)と アプリ MyKobold (マイコーボルト) [▶32]をご参照ください。
- 雫マークについては タンクを取り出し、洗剤を入れて装着 4. する [≥ 59]をご参照ください。

6.5 操作



- 1. オン/オフ ボタン
- 2. +/- ボタン 性能レベル又は加湿レベルを変える
- 3. ブーストボタン
- 4. ディスプレイ

キーマップに関する情報 +/- ボタンの使用方法は回転ハンドルの開閉と同じです。

6.5.1 スイッチをオン・オフにする

初めてご使用になる前に、充電式コードレスクリーナーを 完全 [▶27]充電してください。

- 1. 充電式コードレスクリーナーのスイッチを入れる前に、必ず 充電コネクターをクリーナーから外してください。そうでな ければ充電式コードレスクリーナーのスイッチが入りませ h.
- 2. 充電式コードレスクリーナーをオン/オフボタン(1)でスイ ッチを入れて下さい。

- ⇒ ディスプレイにスイッチが入ります。性能レベル又は加湿レベルとバッテリーの充電状態(パーセント)が表示されます。
- 3. 充電式コードレスクリーナーをオン/オフボタン(1)でスイッチを切って下さい。
- ⇒ ディスプレイ表示が消えます。Bluetooth® が有効であれば、 表示は3分ほど続きます。それが消えてからBluetooth®のシン ボルも消えます。

6.5.2 性能レベルを選ぶ

• +/- ボタン(1)で性能レベル又は加湿レベルを選んでください。

性能レベル及び加湿レベルは特別な使用方法に調整されています:

- Kobold EB7 パワーブラシ [▶ 47]
- コーボルト SP7 床拭き/吸引兼用ハードフロアークリーナー [▶ 60]
- コーボルト HD7 ハードフロアノズル [≥ 69]
- コーボルト PB7 寝具・布製品用 電動パワーブラシとコーボ ルトMP7/MR7 マットレスクリーニングセット [▶ 74]

6.5.3 ブーストボタン

充電式コードレスクリーナーの取っ手の裏側にあるブーストボタン(1)でクリーナーは最強のパフォーマンスで起動します。性能レベル表示はブーストモード(2)に点滅します。このブーストモードは例えばひどく汚れた場所のお掃除にとても便利です。

それぞれのアタッチメントのブーストモードについて詳しくは:

- コーボルト EB7 電動パワーブラシ [▶ 47]
- コーボルト SP7 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナー [▶ 60]
- コーボルト HD7 ハードフロアノズル [▶ 69]
- コーボルト PB7 寝具・布製品用 電動パワーブラシとコーボ ルトMP7/MR7 マットレスクリーニングセット [▶ 74]





6.6 スマートホーム: Bluetooth® (ブルートゥース)とアプリ MyKobold (マイコーボルト)

アプリ マイコーボルト は利用者が個々に機能をカスタマイズしてご利用いただけます。アプリーマイコーボルトで機器についての情報や不具合などが発生した際のヘルプを受けることが出来ます。

6.6.1 アプリ マイコーボルトをインストールし、ペアリング する



1. アップルアプリストア又はグーグルプレイストアからマイコーボルトのアプリをダウンロードし、あなたのスマートフォン又はタブレットにインストールします。アプリは*マイコーボルト*の名前で見つけられます。









2. アプリをスタートし、アプリの指示に従い、あなたの充電式 コードレスクリーナーをマイコーボルトアプリに接続しブル ートゥースを有効にします。

Bluetooth®(ブルートゥース)

充電式コードレスクリーナーのブルートゥースが有効であれば、ディスプレイ表示と充電状態の表示が変わってきます。

スタンドバイ時に真っ黒なディスプレイが初めの3分間 Bluetooth®のシンボルを表示します。

注釈 充電式コードレスクリーナーをマイコーボルトのアプリで使用 するためには、次の事柄にご注意ください:

- インターネット接続が必要です。
- マイコーボルトのアプリの全てのファンクションを充電式コードレスクリーナーとの接続で使用できるよう、あなたの有効なメールアドレスと無料のユーザーアカウント作成をすることが必要です。
- アプリ マイコーボルトはオペレーティングシステム iOS 又はアンドロイドの全ての一般的なスマートフォンとタブレットと互換性があります。グーグルプレイストア又はアップルアプリストアのマイコーボルトアプリのページで現在サポートされている機器についてのインフォメーションを確認してください。。

6.7 連続稼働時間

どの吸引レベル或いは加湿レベルで充電式コードレスクリーナーを使用するかによってクリーナーの稼働時間が違ってきます。

モード		Kobold EB7 ハードフロア	Kobold EB7 カーペット	Kobold HD7	Kobold SP7	Kobold PB7
性能レベル	1	36 min	28 min (60 min ブラ シローラーを	60 min	23 min	140 min (ラベ ニアモード)
			無効にした場 合)		23 111111	
性能レベル	2	24 min	21 min	34 min		30 min
性能レベル	3	11 min	推奨されてい ません	17 min	_	16 min
性能レベル	4	推奨されてい ません	9 min	11 min	_	10 min
ブースト		8 min	8 min	9 min	10 min	9 min

注釈 上記の稼働時間は典型的な稼働時間を表示しております。上記 の稼働時間は新しい充電パックで21℃の室温で行った調査によるものです。実際の稼働時間は上記のものと異なる場合があります。上記の稼働時間は使用方法や環境などによるおよその時間を記載しております。例えば気温の高低で稼働時間が短くなることがあります。

充電式バッテリーの寿命は使用期間中に短くなり、その間バッテリーの稼働時間は減っていきます。稼働時間は完全に充電されたバッテリー状態のものです。

充電式バッテリーをセーブするには、特定のしきい値が下回ってから充電作業を始めます。

6.8 充電式コードレスクリーナーを収納する

- 1. 充電式コードレスクリーナーを使用しない場合には、スイッチを切り、適切に保管してください。
- 2. クリーナーを長期間収納する場合、機器から充電式バッテリーを取り外してください。 [▶ 40]。
- 3. 長期間使用しない場合でもバッテリーは少なくとも1年に1度 は完全に充電してください。

6.9 運送する

警告



火災発生の恐れあり!

運送中の充電式コードレスクリーナー及び充電式バッテリーの不意な触発や 活性化は発熱から火災に至ることがあります。

• 安全な運送を保証する為、取扱書に記載の指示に従って下さい。

同梱のリチウムイオン充電バッテリーは危険物規制要件の対象となります。充電バッテリーは特別な事情無しに外に持ち運んではいけません(例えば車の中)。セル数とセル又はバッテリーエネルギーについての情報はバッテリーのラベル表示をご覧ください。

本充電式コードレスクリーナーはトランスポートモードで運送することで再起動しないように設定されています。そのため充電バッテリーを取り外すことなく安全にオリジナルパッケージで発送することが出来ます。安全のために、さらに1,5と6の点についてご注意ください。本充電式コードレスクリーナーを稼働させた場合、トランスポートモードは無効になります。

第三者(たとえば航空運送や運送会社)により運送される場合、パッケージとラベルシールの特別事項にご注意ください。

- 1. バッテリーはバッテリーケースが壊れていない状態でのみ発送してください。バッテリーが壊れている疑いがある場合には発送をおやめください。疑いがある場合は危険物専門家にご相談ください。
- 2. 航空便で発送する場合、バッテリーは30%以上充電してはいけません。
- 3. 充電式バッテリーは可能であれば、運送の際充電式コードレスクリーナーでトランスポートモードにして、スイッチが入らない状態にします。
- 4. それが不可能な場合は、 充電バッテリーを取り出し、電気コンタクト部分を包み、クリーナーとは別にパッケージの中で動かないように梱包して下さい。適当なオリジナルパッケージが必要な場合は、カスタマーサービスにご相談ください。
- 5. 発送物のパッケージ方法とラベル表示方法を以下に応じて運送会社にお知らせください。充電バッテリーのみか、或いは本充電式コードレスクリーナーも一緒に発送するか、さらに発送には航空便を利用するか否かによります。
- 6. 同様にそれに続く国内と国際規定にもご注意ください。

6.9.1 トランスポートモードに設定する

充電式コードレスクリーナーを運ぶ際には、トランスポートモードに設定して下さい。そうすることでうっかりスイッチが入ってしまうことを防ぎます。

バッテリーが装填された充電式コードレスクリーナーはトランスポートモードにあるときだけ運送できます。

- 1. 充電式コードレスクリーナーが充電器に接続しておらず、スイッチが切れている状態か、ご確認ください。
- 2. 電源スイッチと +/- ボタンの一方をディスプレイの充電状況 が表示するまで2秒間押し続けて下さい。
- 3. ディスプレイの充電状況が表示されるまで電源スイッチと ブーストボタンの両方を同時に6秒間押し続けて下さい。
- 4. 最長1秒間押した後、もう一度電源スイッチと ブーストボタンの両方を同時にディスプレイの全項目が点滅するまで6秒間押し続けて下さい。
- 5. 最長1秒間押した後、逆のJL のマークが表示されるまでもう 一度電源スイッチと ブーストボタンの両方を同時に6秒間押 し続けて下さい。
- ⇒ 今、充電バッテリーはトランスポートモードにあり、発送できる状態にあります。

充電式コードレスクリーナーを 充電する [▶ 27]ことで、トランスポートモードを再び無効にできます。

6.10 初期設定に戻す

- **重要!** 充電式コードレスクリーナーを初期設定の設定に戻すことが出来ます。その場合、今まで保存されていた設定がすべて消滅します。
 - 1. 充電式コードレスクリーナーをパワーブラシ或いは停止ポジション状態の床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナに接続します。
 - 2. それから電源スイッチを押します。
 - ⇒ ディスプレイに充電状況がパーセントで表示されます。
 - 3. 最短6秒間+/- ボタン両方を同時に押し続けます。
 - ⇒ 充電式コードレスクリーナーの初期設定が終わりました。



6.11 メンテナンス

注意



電動部分で怪我をする恐れあり!

電動部分で怪我をする危険があります。

- 付属アタッチメントの付け替え、クリーニング、メンテナンス作業前に は常に充電式コードレスクリーナーの電源を切ってください。
- 付属アタッチメントの付け替え、お手入れ、メンテナンス作業前には充電式コードレスクリーナーからアタッチメントを取り外して下さい。
- 電動部分と距離をとってください。
- 振動部分には絶対に指で触れないでください。

6.11.1 スペアパーツと消耗品

長く製品をご愛用いただくためにもスペアパーツや消耗品はフォアベルクの正規品をお求めください。寿命が近づいているものはお早目の交換をお勧めいたします。再注文に関する詳細につきましては カスタマーサービス [▶ 106]と アプリMyKobold [▶ 32] をご覧ください。

6.11.2 フィルターユニットカバーの開け閉め

まず プレミアムフィルターバックを交換する [▶ 37] 或いは 充電バッテリーを取り除く [▶ 40]には、フィルターユニットカバーを開けて下さい。

フィルターユニットカバーを開ける

- フィルターユニットカバーを開ける前に、充電式コードレス クリーナーをスイッチを切った状態で横に倒して置くか、ス イッチを切った状態で停止ポジション [▶ 26]に置いて下さ い。
- フィルターユニットカバー(2)を外すためにロックレバー(1)を持ち上げます。
- 3. フィルターユニットカバーを上に持ち上げ(3)、取り出します。





フィルターユニットカバーを閉める

- 1. フィルターユニットカバーのフック(4)を充電式コードレスクリーナー内の下部(5)に引っ掛けます。
- 2. フィルターユニットカバーを軽く押しながら閉めますが、こ の時にカチッと音が鳴ります。
- 3. モーター保護フィルターを正しく装填 [▶ 40]しているかご注意ください。
- 4. 取り付けの際にプレミアムフィルターバッグがカバーとロック部分に挟まっていないかお確かめください。
- 5. フィルターユニットカバーが閉まりにくいときに力任せに押 さないでください。プレミアムフィルターバックが正しく装 着しているかお確かめください。

プレミアムフィルターバックを充電式コードレスクリーナーに正しく装填する [▶ 37]事をお確かめください。プレミアムフィルターバックが正しく装着していない或いは全く装着していない場合、充電式コードレスクリーナーはセキュリティ上の理由で閉まりません。

6.11.3 プレミアムフィルターバックの装着と交換

注意



不適切な使用によりアレルギー対策効果の損失と損傷の恐れあり!

不適合なまたは破損したフィルター材料は細かいアレルギーを引き起こす粒子をフィルター内に留め置くことが出来ません。

- そのためには充電式コードレスクリーナーをご使用の際にはフォアベル ク社の Kobold 正規オリジナル製品のみをご使用ください。
- 使用済みの Kobold プレミアムフィルターを再度使用しないでください。
- 本充電式コードレスクリーナーにはフォアベルク社の正規品 Kobold オリジナル製品のプレミアムフィルターのみをご使用ください。



プレミアムフィルターバックがほぼいっぱいの状態で、*フィルター交換* の表示ライトは光ったままになります。プレミアムフィルターバックがいっぱいの状態で、*フィルター交換* の表示ライトは点滅します。

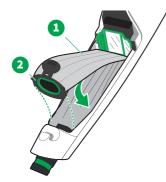
吸い取られたごみの内容物により、フィルター交換 の表示は プレミアムフィルターバックの交換を知らせます。細かいほこ りを多く吸った場合、その粒子がプレミアムフィルターバック 内部面に詰まっていきます。そのためプレミアムフィルターバ ックはまだ完全に一杯でなくても交換が必要になっています。 粗いゴミの内容物の場合、それとは反対にフィルターバックの 交換はほぼいっぱいにゴミが詰まった状態でお知らせします。

プレミアムフィルターバックを取りだす



- 1. プレミアムフィルターバックの交換前に、充電式コードレス クリーナーのスイッチを切った状態で横に倒して置くか、ス イッチを切った状態で停止ポジション [▶ 26]に置いて下さ い。
- 2. フィルターカバーを開け、取り出します [▶ 36]。
- 3. プレミアムフィルターバックの下部にあるキャップ(2)を軽く前に引っ張り、プレミアムフィルターバック(1)が取り出しやすくなるようにします。
- 4. 収納部分からキャップ(2)を引っ張り、プレミアムフィルターバック(1)を取り出します。
- 5. キャップ(2)をねじってプレミアムフィルターバックの開口部(3)に入れるようにして、衛生キャップを閉めます。

プレミアムフィルターバックを装着する







- 1. 新しいプレミアムフィルターバック(1)を斜めに取り付けられたプレート(3)に取り付け、フィルターバッグ収納部へ挿入します。
 - キャップ(2)ははめ込まれた状態でプレミアムフィルターバックについています。
- 2. プレミアムフィルターバックを吸引ノズルの方に傾けてくだ さい(4)。
- 3. プレミアムフィルターバックが完全にフィルターバッグ収納 部(5)に収まっていることをお確かめください。 プレミアムフィルターバックがフィルターバック収納部の縁 にはみ出してないか、ご確認ください。





6.11.4 充電バッテリーを取り出す又は交換する

- 1. 充電バッテリーを取り出すか交換する前に、充電式コードレスクリーナーをスイッチを切った状態で横に倒して置くか、スイッチを切った状態で停止ポジション [▶ 26]に置いて下さい。
- 2. フィルターカバーを開け、取り出します。
- 3. 充電バッテリーを取り出すには、充電バッテリーの安全レバー(1)を押し、同時にロックレバー(2)上に引っ張ります。
- 4. フィルターカバーのスライド部分から充電バッテリーを引き出します。

6.11.5 モーター保護フィルターの取り出し、お手入れと装着

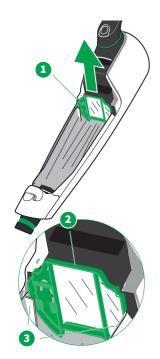
注意



不適切な使用による損傷の恐れあり!

不適切に乾かしたモーター保護フィルターは損傷の原因になることがあります。

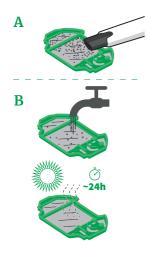
• 濡れたモーター保護フィルターは装着する前に、温かい場所で24時間乾かして下さい。



モーター保護フィルター(1)は充電式コードレスクリーナーを汚染物質から守ります。定期的な目視確認とモーター保護フィルターのメンテナンスはクリーナーを長く維持するために特に重要です。モーター保護フィルターは繰り返しお手入れ可能です。プレミアムフィルターバックが破れたり、モーター保護フィルターがひどく汚れ、或いは目詰まりがあった場合には交換してください。

モーター保護フィルターの取り出し、お手入れと装着

- 1. モーター保護フィルターの中央 (2) を掴み、上に引っ張り出 します。
- 2. モーター保護フィルターを両側からきれいにしてください。
- 3. モーター保護フィルターに損傷がある、またはひどく汚れている場合には、新しいものに取り換えて下さい。
- 4. 再びモーター保護フィルターを装着するには、これを装着部 (3)に入れて下さい。



モーター保護フィルターのお手入れ

オプションA

他のクリーナーでモーター保護フィルターを両側から吸引してフィルターをきれいにしてください。

オプションB

他の方法としてモーター保護フィルターを流れる水道水で洗って下さい。モーター保護フィルターを装着する前に、温かい場所で少なくとも24時間完全に乾かして下さい。

警告



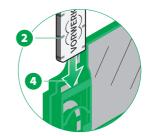
のどに詰まる恐れあり!

小さな部品は気道に入り込み、喉を詰まらせる可能性があります。

• 芳香剤などの小さな部品はお子様の手の届かないところに保管してください。







- 1. モーター保護フィルターを取り外します [▶ 40] (1)。
- 2. 古くなった芳香剤(2)は芳香剤の装着部の下から(3)引き抜いて取り出してください。
- 3. 新しい芳香剤(2)を芳香剤の装着部の上からスライドして (4)はめ込んで下さい。
- 4. もう一度モーター保護フィルターを取り付けます [▶ 40]。

6.12 技術仕様

6.12.1 充電式コードレスクリーナー

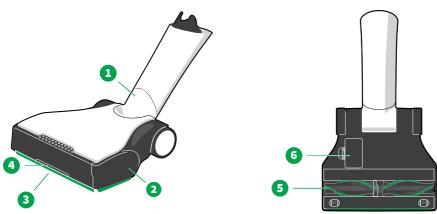
認証マーク	
秘証マーク	
本体材質	高品質再生可能プラスチック
モーター	メンテナンスフリーのBLDCモーター、最速約95.000回転/分
定格消費電力	ブーストモード、400W
電圧	28.8V又は29.6V(セルタイプによる)
入力電圧充電器	交流電圧 100V 50/60 Hz (自動変換)
最大真空度	最大真空度 1 1 2 hPa (レベル 4 -89.000 U/min)
最大風量	最大風量 27ℓ/秒 (アタッチメント不使用で空のフィルターバック) (レベル4-89.000 U/min)
プレミアムフィルター バック容量	0.8 ℓ
重量	約2.3kg (アタッチメント不使用の充電式コードレスクリーナー)
寸法	高さ: 約22cm (21cm, 回転グリップが閉じた状態) 幅:約14cm 長さ: 約55cm (約93cm, 回転グリップが開いた状態)
騒音レベル	78 dB (A) re 1 pW (1枚のカーペットで Kobold VK7 充電式コードレスクリーナー と Kobold EB7 パワーノズルを使用)
充電器	・ 電気機器、例えば充電器やプレミアム充電器の供給電力の接続に個別の供給ユニットが必要となります。
充電式バッテリー	
	カテゴリー: バッテリーパック
充電時間	約2時間
接続データ	2.4 GHz 2400 - 2483.5 < 10 dBm Bluetooth® 5.1 MHz Low Energy
	アイコン(ロゴマーク)のようなワードマークのBluetooth®は登録 商標でBluetooth SIG, 株式会社が所有権を持ち、これらのアイコン ワードマークのあらゆる使用はVorwerk Elektrowerk GmbH & Co.KGの使用承諾の下で行われております。

6.12.2 充電器

Kobold SC7 充電器	
認証マーク	CE
入力電圧	220- 240 VAC
入力交流周波数	50/60 Hz (自動変換)
出力電圧	37 VDC
出力電流	1.3 A
出力電力	48.1 W
平均運用効率	> 87,77 %
低負荷での効率 (10%)	> 78 %
無負荷時の消費電力	< 100 mW
カテゴリー:	SC7

7 コーボルト EB7 パワーブラシ

7.1 製品の概要



Kobold EB7 パワーブラシについて	
1. ジョイント部	4. ブーストキャップ
2. サイドキャップ (左と右)	5. ローラーブラシ
	 6. 通気カバー

7.2 様々なフロアの種類に対する適正

カーペットの種類	Kobold EB7
ダフテッドカーペット,	++
ベロアカーペット	
ベルベットカーペット、毛足の長いカーペット、軽めのルー	+
ズカーペット、シルクカーペット、サイザル麻フロア	
革 ————————————————————————————————————	-
フロカティ	+*
緩く結ばれたカーペット	+*
長く捩った繊維によるカーペット	+*
ヨガマット	+*
ハードフロアタイプ	
塗料/ラックニスで施した板張りの床 (廊下、パーケット)	++
オイル/ワックスで施した板張りの床	+
板張りの床 塗料加工なし/無処理木材	-
塗料加工のコルク床	++
オイル/ワックス加工のコルク床	+
コルク板 塗料加工なし/無処理	-
ラミネート・フローリング	++
弾力のある床(ポリ塩化ビニール、クッションビニール、リ ノリウム)	+
石床 (大理石、花崗岩、ジュラストーン、人工石)	+
多孔性表面の/傷付きやすい自然石 (スレート、レンガ)	-
クレイタイル(テラコッタ、レンガ、レンガ粘土など)	+
タイル セラミック 光沢がある陶磁器	++
無塗装のタイル張り床	
コンクリート床	-
-	

- ++ 非常に優れた適性
- + とても優れた適正
- 使用不可
- * 無効にしたブラシモードでのみ

7.3 操作

2

7.3.1 性能レベルを選ぶ

• +/- ボタン(1)で性能レベルを選んでください。



O

7.3.2 性能レベルとブラシモードについて

4

ローラーブラシはブースト ローラーブラシが無効にな

モード以外のどの吸引レベ りました

ルでも無効にできます

3



ンス

ローラーブラシを無効に

する

+/- ボタンを2秒間押して で バッテリー稼働時間 パワーブラシのローラー [▶33] は明確に伸びます。 ブラシは無効になりま す。

無効にしたローラーブラシ

再び

+/- ボタンを押すと、吸引 レベルが変わり、ローラ ーブラシが再び動き出し ます。

7.3.3 ブーストキャップを有効にする

ブーストモードで粗く大きい粒子を吸い取ることが出来ます。

• ブーストボタン(1)を長く押してください。このボタンを 押しているときブーストキャップが開き(2)、より一層粗 いゴミを吸い取ります。



7.3.4 パーソナルクリーニング調整



アプリMyKobold [▶32] でパワーブラシの性能レベル2 [▶47] を 定まった床タイプを設定することが出来ます。その時にローラ ーブラシの回転数並びにコードレスクリーナーの吸引力は アプ リMyKobold [▶32] で選んで保存した状態で設定されます。この 性能レベルでコードレスクリーナーのディスプレイの2番目のア ーチ表示が光ります。

• 詳しくはアプリの指示を参照し、従って下さい。

7.3.5 停止ポジション

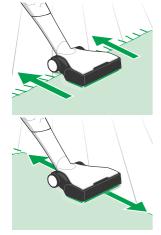
充電式コードレスクリーナーをスイッチの入った状態で 停止ポジション [▶ 26] に置いた場合、 クリーナーの システム表示と性能表示 [▶ 29] は バッテリー表示に変わります。充電式コードレスクリーナーを3分以上使用しない場合には、クリーナーは自動的にシャットダウンします。

7.3.6 パワーブラシで吸引する

- 1. パワーブラシをお使いになる前に、パワーブラシが 床に適性 している [▶ 46]かお確かめ下さい。
- 2. 効果的なお掃除に、パワーブラシを均等に前後に動かしてください。

7.3.7 使用上の注意

- 1. 床とカーペットの酷い汚れにはそれに適した 性能レベル [▶ 47]をお選びください。
- 2. パワーブラシを常に均等に前後に動かしてください。
- 3. 長時間同じ場所でのパワーブラシの使用は、床の損傷の原因になる恐れがあります。
- 4. 回転するローラーブラシはカーペットのフリンジに機械的に に働きかけ、解きほぐします。その際はフリンジの後ろ方向 に一方通行で動かすようにするか、回転を止めてご使用くだ さい。
- 5. カーペットの端は縁に対し並行にお掃除してください。



7.4 メンテナンス

注意



電動部分で怪我をする恐れあり!

電動部分(例えば、ローラーブラシ)で怪我をすることがあります。

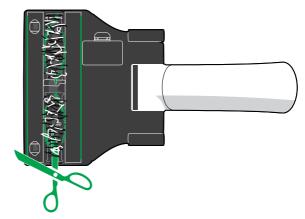
- 付属アタッチメントの付け替え、クリーニング、メンテナンス作業前に は常に充電式コードレスクリーナーの電源を切ってください。
- 付属アタッチメントの付け替え、お手入れ、メンテナンス作業前には充電式コードレスクリーナーからアタッチメントを取り外して下さい。
- 電動部分と距離をとってください。
- 振動部分には絶対に指で触れないでください。

7.4.1 スペアパーツと消耗品

長く製品をご愛用いただくためにもスペアパーツや消耗品はフォアベルクの正規品をお求めください。寿命が近づいているものはお早目の交換をお勧めいたします。再注文に関する詳細につきましては カスタマーサービス [▶ 106]と アプリMyKobold [▶ 32] をご覧ください。

7.4.2 テストとクリーニング





- 1. パワーブラシの底部分を定期的にチェックし、クリーナーと床に損傷が起こらないようにして下さい。
- 2. 傷付いた場所やひどく汚れた部分を見つけられるよう、時々 目視でチェックしてください。
- 3. 汚れを取り除いて下さい。前部にある小さいロールから絡まった髪の毛を取り、ローラーブラシがうまく回るかテストしてください。

- 4. 糸や髪の毛がローラーブラシに絡まっていたら、これをハサミで切り、ローラーブラシから取り除きます。
- 5. 酷く絡まっている場合は ローラーブラシを取り除き [▶ 52] 、そして必要に応じて糸、髪の毛や繊維をメタルウェーブからも取り除きます。

7.4.3 ローラーブラシを交換する



- 1. サイドキャップ (1) をねじりながら上に上げます。
- 2. ローラーブラシ (2) と (3) をシャフト(電動軸)から取り出します。
- 3. シャフト(4)の汚れを取ってください。その際に内部もチェックしてください。
- 4. ローラーブラシ(2)と(3)をお手入れしてください [▶ 50]。
- 5. 緑の端のローラーブラシ(2)を左に、そしてグレーの端の ローラーブラシ(3) を右にはめ込んで下さい。
- 6. ローラーブラシを軽く回転させながらシャフトに押し込み、 完全にはめ込んで下さい。
- 7. ローラーブラシがシャフトにきちんとはまっているかチェックしてください。
- 8. 再びサイドキャップ(1)をカチッとはめます。

サイドキャップをはめる

サイドキャップはパワーブラシから取り外すことが出来ます。

- 1. 再びサイドキャップ(1)をカチッと外します。
- 2. サイドキャップ(2)を再びカチッとはめます。



7.4.4 後部のリップを交換する



後部のリップが破損等した場合は交換することが出来ます。

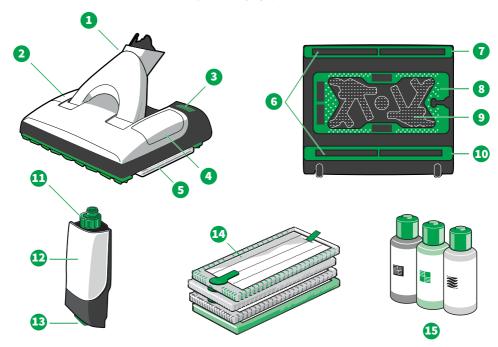
- 1. パワーブラシを反対向きに柔らかい敷物の上に置きます。
- 2. 連結部が自分の方を向くようにしてください。
- 3. 後部のリップ(1)をサイドに引っ張ります。
- 4. 新しいリップの装着はサイドから装着部にはめ込みます。

7.5 技術仕様

Kobold EB7 パワーブラ	シ
認証マーク	(E DYE III)
本体材質	高品質再生可能プラスチック
モーター	メンテナンスフリーの直流モーター、約9400回転/分
定格消費電力	80 W
電圧	28.8 V
重量	約1,65 kg
ローラーブラシ	交換可能な回転ブラシ× 2
作業幅	約25 cm
ローラーブラシの回転数	4700 U/min 又は1550 U/min 又は 0 U/min
寸法	約 25 cm x 44 cm x 8 cm
騒音レベル	カーペット: 78 dB (A) re 1 pW ハードフロア: 79 dB (A) re 1 pW

8 コーボルト SP7 床拭き/吸引兼用ク リーナー

8.1 製品の概要



NODE	old SP7 床拭き/吸引兼用 ハードフロアク	·/ -/	
1.	ジョイント部	9.	クロスキャリアホールダー
2.	取付けタンク	10.	後部 シールリップフレーム
3.	クロスキャリアリリースペダル	11.	洗剤計量カップ付きタンクの蓋
4.	通気カバー	12.	タンク
5.		13.	タンクロック
	クリーナーのクロスキャリアにはめ込 まれたクリーニングクロス		
6.	左上: 前部吸引口 左下: 後部吸引口	14.	MF600 クリーニングクロス (ユニバー サル、ユニバーサルソフト、床パーケ ット用ドライ)
7.	前部 シールリップフレーム	15.	コボクリーン(ユニバーサル、パーケット、板張りの床用洗剤)*
8.	クロスキャリア		

8.2 様々な床の種類に対するクリーニングク ロスの適正

ハードフロアタイプ	ユニバーサノ	レユニバーサル ソフト	寄木張り床 (パーケッ ト)	ドライ
塗料/ラックニスで施した板張りの 床 (床板、寄せ木張りの床)	+*	+*	++	++*
オイル/ワックスで施した板張りの床	+*	+*	++	++*
塗料加工なし/無処理木材	-	-	-	+*
塗料加工のコルク床	+*	+*	++	++*
オイル/ワックス加工のコルク床	-	-	-	+*
塗料加工なし/無塗装のコルク床	-	-	-	+*
ラミネート・フローリング	+	++	+	++
弾力のある床(ポリ塩化ビニー ル、クッションビニール、リノリ ウム)	++	++	-	++
石床 (大理石、花崗岩、ジュラストー ン、人工石)	++	++*	-	++
多孔性表面の/傷付きやすい自然石 (スレート、レンガ)	+	+*	-	++
クレイタイル(テラコッタ、レン ガ、レンガ粘土など)	++*	++*	-	++
セラミックで光沢のあるタイルと 炻器タイル	++	++*	-	++
無塗装のタイル張り床	-	-	-	+
コンクリート床		除	外	
織地床		除	外	

- ++ 非常に優れた適性
- + とても優れた適正
- 使用不可
- * クロスにはマイクロファイバーを使用; フロアメーカーのクリーニング、お手入れ上の注意をご参考ください。
- ** 粗い床でのご使用で酷く摩耗することがあります。

8.3 クリーニングクロス

この Kobold MF600 クリーニングクロスは特に床拭き/吸引兼用 ハードフロアクリーナー専用に開発されました。クリーニング クロスは4種類あります。



Kobold MF600 クリーニングクロス ユニバーサル は特に水拭き可能な全ての表面に適しています(例え ば、タイル、PVC、そして粗いコンクリート面にも適 しています)。



Kobold MF600 クリーニングクロス ユニバーサルソフ

▋は特に通気性のある、あるいは光沢のある、水拭き可 『能な床に適しています(例えば、大理石、花崗岩、人 工席、ラミネート)。



I Kobold MF600クリーニングクロス 寄木張り床(パー ケット)

▋は特に木製フローリング の水拭きに適しています ▋(例えば、パーケット、シーリング加工のコルク 床)。



Kobold MF600 ドライ用クリーニングクロス はハードフロアのドライクリーニングに適していま す。

クリーニングクロスのタイプと枚数は梱包セットによって異な ります。

クリーニング効果が最大限に発揮されるよう、クリーニングク ロスを初めてご使用になる前とご使用後には クリーニングクロ スの洗濯 [▶ 64] をご参照になり、洗濯機で洗うことをお勧め いたします。

8.4 コボクリーン

この洗剤は各種ハードフロアのクリーニングに適しています。



コボクリーンユニバーサル

は水ぶきのできるあらゆるコーティング加工済みの表面 (例えばタイル、ポリ塩化ビニール)用洗剤です。



■コボクリーン寄木張り床(パーケット)

は特に水拭き可能なコーティング済みの木製のフローリ |┃┃███ ング用に開発されました(例えば、コルク、パーケッ ト、ラミネート)。



コボクリーン木製フローリング用洗剤

んは特に水拭き可能なオイル塗装、ワックス加工又は石鹸 ■塗装の木製フローリング用に開発されました。

クリーニング用洗剤は使用前に必ず商品に記載の量を希釈して お使いください。原液をそのまま使用しないでください。

コボクリーンは洗剤であり、消毒剤ではありません。

8.5 お掃除モードにする

8.5.1 停止ポジション



停止ポジションを設定する

停止ポジションは充電式コードレスクリーナーがまっすぐ正面 を向いているときにだけ設定できます。

- コードレスクリーナーが床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナー上を通り、前に倒すように押してください。
- ⇒ コードレスクリーナーが停止位置まで来ると、カチッと音がします。



停止ポジションを解除する

- 1. コードレスクリーナーを少し前に押して(1)音がするまで倒します。
- ⇒ これでコードレスクリーナの停止ポジションが解除されました。
- 2. その後コードレスクリーナを通常使用に、お掃除ポジション (2)にしてください。

8.5.2 クロスキャリアを外す



クロスキャリアプレートを取り出すことができるのは、停止ポジションに設定されたクリーナーを斜め後方に傾け、キャスターの上にある場合に限られます。

- 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーは アタッチメントの 取り付けと取り外し [▶ 26] 章の説明に従いコードレスクリー ナーに取り付けてください。
- 2. コードレスクリーナーを停止ポジションにするには、停止ポ ジション [▶ 57]の章の説明をお読みください。
- 3. 停止ポジションにあるコードレスクリーナーを後方に傾けて ください(1)。
- ⇒ その時点で床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーはキャスター上にあります。
- 4. 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーの左下後方にある緑のフットボタン(3つのグリーンライン)を足で押してください(2)。
- ⇒ クロスキャリアがクリーナーから外れます。

8.5.3 クリーニングクロスをクロスキャリアプレートに固定する

警告



のどに詰まる恐れあり!

小さな部品が気道に入り込み、喉を詰まらせる可能性があります。

• 繋ぎ目が床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーのクリーニングクロス の緑色の装着部にきちんとついているか、そして緑色の装着部が取れて いる場合、それを交換するよう定期的にチェックしてください。







1. クリーニングクロスをクロスキャリアプレートに固定するには、クリーニングクロスの緑の固定具(1)を クロスキャリアプレートの上の矢印の間にあるスリットに差し込むように入れてください。

- 2. その後クロスキャリアプレートをクロスの上に合わせ、押し付けてください(2)。
- ⇒ クロスの裏面がキャリアプレートに収まり、取付完了です (3)。
- 3. クリーニングクロスがクロスキャリアに傾いて装着していないか、十分にご確認ください。
- 8.5.4 タンクを取り出し、洗剤を入れて装着する

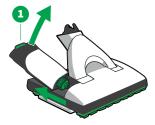
注意



不適切な洗剤の使用により物的損害が発生します!

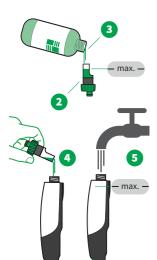
床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーの洗剤の不適切な使用は損傷を引き起こすことがあります。

- Kobold フォアベルク社の正規洗剤のみをご使用ください。
- 酸性洗剤(ビネガークリーナーなど)や強アルカリ性洗剤(塩素系漂白剤など)を使用しないでください。



水拭きクリーニングには、クリーニングクロスを洗剤が床拭き/ 吸引兼用ハードフロアクリーナーのタンクを通して自動的に浸 透して濡れていきます。

- 1. タンクを床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーから取り外してください。床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーの後方にある緑色のタンクロックを少し上に引き上げ(1)、タンクを持ち上げながら後方に取り出してください。
- 2. タンクのキャップを回して外してください(2)。
- 3. コボクリーンをタンクの計量キャップのマークのある所まで 入れてください(3)。
- 4. 計量した量をタンクに注いでください(4)。 コボクリーン洗剤の用量にご注意ください。
- 5. きれいな水道水をタンクの最大量マークまで入れてください (5)。
- 6. タンクのキャップを再び装着し、ねじ回してください。
- 7. タンクを床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーに装着して ください。まず初めにタンクキャップ側を床拭き/吸引兼用ハ ードフロアクリーナーの中に入れ、そして後方にあるタンク の装着部に押し込みます。
- ⇒ カチッと音がし、タンクがはまります。



8.5.5 クロスキャリアプレートを取り付ける



- 1. 正確にクロスが固定した状態でクロスキャリアを床に置いてください。
- 2. 停止ポジションにあるコードレスクリーナーを後方に傾けて ください(1)。
- ⇒ その時点で床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーはキャスター上にあります。
- 3. クロスキャリアプレートはシンメトリックです。床拭き/吸引 兼用ハードフロアクリーナーがクロスキャリアプレートとき ちんと接続するよう、コードレスクリーナーをクロスキャリ アプレート上を一方の長い方のサイドに向かって近づけてい きます。
- 4. クロスキャリアプレート上のコードレスクリーナーを傾けて ください(2)。
- ⇒ クロスキャリアがカチッとなり、床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーに収まります(3)。これで本機器の運転準備が整いました。

8.6 操作

8.6.1 加湿レベルを選ぶ

注意



先の尖った物体が床を傷つけます!

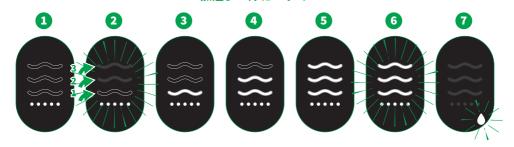
クリーニングクロスの下にある尖った粒子が床を傷つけることがあります。

• 電源を入れる前に、小石や猫砂などの顆粒物、その他先の尖った物体の上にクリーニングクロスが置かれていないことを確認してください。



• +/- ボタン(1)で加湿レベルを選んでください。

8.6.2 加湿レベルについて



1. ドライモード

点表示が光り、ウェーブランプ 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーは加湿なしでは光っていない ドライモード走行

2. 最初の加湿

ウェーブランプが下から上へ光 +/- ボタンの長押し(約2秒)でクリーニングクロスをーり流れる 気に濡らして湿らせる(但し1回のスイッチサイクルにつき1度のみ)

3. 1.ウェットレベル

ウェーブランプが一つ点灯 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーのお掃除準備 が整い、上の +/- ボタンを1度押すことで、ウェットモードは最低レベ ルで湿る。

4. 2.ウェットレベル

ウェーブランプが二つ点灯 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーのお掃除準備が整い、上の +/- ボタンを 2 度押すことで、ウェットモードは中レベルで湿る。

5. **3.ウェットレベル**

ウェーブランプが三つ点灯 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーのお掃除準備 が整い、上の +/- ボタンを 3 度押すことで、ウェットモードは最高レベルで湿る。

6. ブーストモード

ウェーブランプが三つ点灯 ブーストボタンの長押しでを一時的に最大の吸引レベル

7. タンク表示/損害

8.6.3 ウェットレベル使用上の推奨

ハードフロアタイプ	ドライ	1.レベル	2.レベル	3.レベル
塗料/ラックニスで施した板張りの 床 (床板、寄せ木張りの床)	++	++	+	+
オイル/ワックスで施した板張りの床	++	+	_	-
塗料加工なし/無処理木材	++	_	_	_
塗料加工のコルク床	++	++	+	+
オイル/ワックス加工のコルク床	+	_	_	_
塗料加工なし/無塗装のコルク床	+	_	_	_
ラミネート・フローリング	++	++	+	+
弾力のある床(ポリ塩化ビニー ル、クッションビニール、リノリ ウム)	++	++	++	++
石床 (大理石、花崗岩、ジュラストー ン、人工石)	++	++	++	++
多孔性表面の/傷付きやすい自然石 (スレート、レンガ)	++	++	++	++
クレイタイル(テラコッタ、レン ガ、レンガ粘土など)	++	++	++	++
セラミックで光沢のあるタイルと 炻器タイル	++	++	++	++
無塗装のタイル床	+			
粗いコンクリート床(骨材露出コンクリートなど)		除	外	
織地床		除	外	

++ 非常に優れた適性

+ とても優れた適正 - 使用不可

注釈 クリーニング時に早く動かしたいときは、ウェットレベルを高 くすると滑りが良くなります。

床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーでのクリーニングで床 が濡れてきたら、ウェットレベルを低く設定してください。他 の方法として2,3分ドライモードで加湿無しでクリーニングし てください。

クリーニングクロスが乾いている場合、 グリップの+/- ボタンで ウェットレベルが高められます。

その他の解決法につきましては トラブルシューティング [▶91] をご覧下さい。

注意



床に傷がつく恐れあり!

不適切な床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーの使用は床に損害を引き起こす事があります。

- 本床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーは必ずクリーニングクロスとセットで使用してください。
- 一箇所で10秒以上床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーを使用しないでください。
- 濡れたクリーニングクロスを付けたまま床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーを30秒以上床の上に置かないでください。 デリケートな床で使用すると、床に損傷が生じる場合があります。
- クリーニングクロスを手動で濡らさないようご注意ください。クリーニングクロスは事前に湿らせると濡れすぎるので床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーを通してのみ湿らせるようにしてください。
- デリケートな床(オイル塗装コルク、オイル塗装パーケット、コーティング・オイル塗装済み石材のようなコーティングの耐久年数が短い床材など)を使用したフロアでの床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーのご使用は損傷を防ぐため、まずはクリーニング開始前に目立たない箇所でお試しください。
- 特別湿気に弱い床が濡れすぎている場合には、乾いたパーケット用クリーニングクロスやドライ用クリーニングクロスを使用し、お掃除ください。
- 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーに物が引っかかったり挟まったりした場合には、損傷を防ぐために直ちにクリーナーの電源スイッチを切ってください。
 - 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーはムラなく前後均一 に動かしてください。
 - 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーは常に作動させてください。

注釈 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーの特殊なクリーニング 性能上、初回のクリーナー使用の際、ひどい汚れと前回のクリーニングの洗剤後を取り除くためには数回のクリーニングが必要な場合があります。





- 1. クロスキャリアプレートを取り外します [▶ 58]。
- 2. クロスキャリアプレートをしっかり持ってください。
- 3. もう一方の手でクリーニングクロスの取っ手を(1)を持 ち、二重にしてください(2)。
- 4. 親指でクリーニングクロスの緑色の留め口を押さえ(3)、 クリ ーニングクロスをクロスキャリアプレートから引き出してく ださい(4)。
- 5. 清潔なクリーニングクロスを取り付けます [▶ 58]。

クリーニングクロスの耐用年数は床の汚れ具合と床面のタイプ により異なります。





8.6.6 収納

- 1. タンクを空にし [▶ 59] て クリーニングクロスを取り外します [641 °
- 2. 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーは収納タンクとクロ スキャリアプレートと一緒に収納してください。

8.6.7 クリーニングクロスの洗濯









- 1. 最適なクリーニング性能を発揮するには、初回の使用前と毎 クリーニング後にクリーニングクロスを洗濯機で60℃のお湯 で柔軟剤なしで洗って下さい。
- 2. 洗濯したクリーニングクロスは、乾燥機で低温で乾燥してく ださい。

8.7 メンテナンス

注意



電動部分で怪我をする恐れあり!

電動部分(例えば、ブラシローラー等)で怪我をすることがあります。

- 付属アタッチメントの付け替え、クリーニング、メンテナンス作業前に は常に充電式コードレスクリーナーの電源を切ってください。
- 付属アタッチメントの付け替え、お手入れ、メンテナンス作業前には充電式コードレスクリーナーからアタッチメントを取り外して下さい。
- 電動部分と距離をとってください。
- 振動部分には絶対に指で触れないでください。

8.7.1 スペアパーツと消耗品

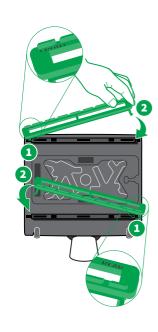
長く製品をご愛用いただくためにもスペアパーツや消耗品はフォアベルクの正規品をお求めください。寿命が近づいているものはお早目の交換をお勧めいたします。再注文に関する詳細につきましては カスタマーサービス [▶ 106]と アプリMyKobold [▶ 32] をご覧ください。

8.7.2 シールリップフレームの取り外し

シールリップをきれいにするため、シールリップフレームを床 拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーから外します。

- 1. 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーを反対向きに柔らかい敷物の上に置きます。
- 2. 連結部が自分の方を向くようにしてください。
- 3. シールリップの中央部分(1)を引っ張り、シールリップフレームを固定部分から外してください(2)。
- 4. 必要であれば、シールリップの汚れを水道水で洗い流してく ださい。





8.7.3 シールリップフレームの取り付け

シールリップフレームは必ず完全に乾かしてからクリーナーに 再度装着してください。両シールリップフレームはそれぞれの 形状が異なっているので、適所に間違いなく装着してくださ い。装着時にはシールリップフレームのシールリップ部分がそ れぞれ内側のクロスに向くようにしてください。

- 1. シールリップフレームを二重フックに引っ掛けてください (1)。
- 2. もう一方を取り付けるため、シールリップフレームの両側を押し、取り付けて下さい(2)。
- 3. シールリップフレームが軽く上下に動くか、点検してください。
- 4. シールリップフレームが動かない場合、シールリップフレームの内側の接合部分をを下向きに押して動くようにして下さい。

8.7.4 タンクを掃除する

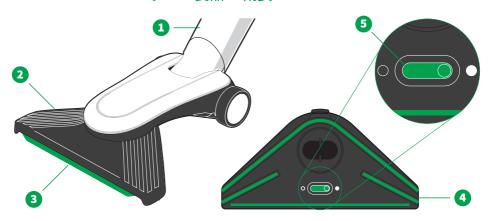
タンクをきれいな水で定期的に洗浄してください。必要に応じて、その後タンクをぬるま湯の石鹸水でゆすいでください。

8.8 技術什樣

Kobold SP7 床拭き/吸引兼用 ハードフロアクリーナー		
認証マーク	C E DYE (III)	
本体材質	 リサイクル可能な高品質プラスチック	
モーター	メンテナンスフリーの直流モーター	
定格消費電力	55 W	
電圧	28.8 V	
重量	約3.5 Kg (クロスとタンクは含まない)	
寸法	高さ: 約10cm (横にした連結部を含む) 幅: 約 32 cm 長さ: 約 38 cm (横にした連結部を含む)	
タンク容量	約 300 ml	
騒音レベル	82 dB (A) re 1 pW	

9 コーボルト HD7 ハードフロアノズ ル

9.1 製品の概要



Kobold HD7 ハードフロアクリーナーノズルについて

TODOIG TIDE 7 1 7 M 7 7 7 7	7 () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J () J ()
1. ジョイント部	4. ブラシプレート(取り外し可能)
2. フリッパー	5. シールリップの開閉スライダー
3. シールリップ	

9.2 様々なフロアの種類に対する適正

ハードフロアタイプ	Kobold HD7
塗料/ラックニスで施した板張りの床 (廊下、パーケット)	++
オイル/ワックスで施した板張りの床	+
塗料加工なし/無処理木材	+
塗料加工のコルク床	++
オイル/ワックス加工のコルク床	+
塗料加工なし/無塗装のコルク床	+
ラミネート・フローリング	++
弾力のある床(ポリ塩化ビニール、クッションビニール、 リノリウム)	++
石床 (大理石、花崗岩、ジュラストーン、人工石)	+
多孔性表面の/傷付きやすい自然石 (スレート、レンガ)	+
クレイタイル(テラコッタ、レンガ、レンガ粘土など)	+
セラミックで光沢のあるタイルと炻器タイル	++
無塗装のタイル張り床	+
コンクリート床	+
カーペット	-

- ++ 非常に優れた適性
- + とても優れた適正
- 使用不可

9.3 操作

9.3.1 シールリップを引き出す





ハードフロアノズルのクリーナーの底部分にあるスライド (1)を動かし、シールリップを上下に折りたたむように動かします。

立たせた状態のシールリップ (2)は大きい粒子を吸引するのに役立ちます。折りたたんだ状態のシールリップは (3)、特に隙間や溝のお掃除に適しています。

9.3.2 性能レベルを選ぶ

• +/- ボタン(1)で性能レベルを選んでください。



9.3.3 性能レベルについて







ディスプレイ	性能レベル 1
1.	レベル1 <i>ソフト</i> (min) 特に長い稼働時間用
2.	レベル 2 <i>中</i> (med) 軽い汚れ用
3.	レベル 3 <i>中+</i> (med+) 普段の床の汚れ用
4.	 レベル 4 <i>強</i> (max) 酷い汚れと溝のある床用
5.	ブースト ブーストボタンを長く押すことで一時的に最強のパフォーマンス

9.3.4 ハードフロアを吸引掃除する

- 1. ハードフロアノズルをお使いになる前に、ノズルが 床に適性 している [▶ 68]かお確かめ下さい。
- 2. 効果的なお掃除に、ノズルを均等に前後に動かしてください。

9.4 メンテナンス

注意



電動部分で怪我をする恐れあり!

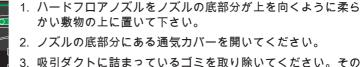
電動部分で怪我をする危険があります。

- 付属アタッチメントの付け替え、クリーニング、メンテナンス作業前に は常に充電式コードレスクリーナーの電源を切ってください。
- 付属アタッチメントの付け替え、お手入れ、メンテナンス作業前には充電式コードレスクリーナーからアタッチメントを取り外して下さい。
- 電動部分と距離をとってください。

9.4.1 スペアパーツと消耗品

長く製品をご愛用頂くためにもスペアパーツや消耗品はフォアベルクの正規品をお求めください。寿命が近づいているものはお早目の交換をお勧めいたします。再注文に関する詳細につきましては カスタマーサービス [▶ 106] と アプリMyKobold [▶ 32]をご覧ください。

9.4.2 詰まったゴミをとり除く



- 場合に見合った器具をご使用ください(ドライバーやかぎ針など)。 4. 通気カバーのフックをハードフロアノブルの中にはめて、反
- 4. 通気カバーのフックをハードフロアノズルの中にはめて、反対側を下に押して再び通気カバーを閉じます。



9.4.3 ブラシプレートを取り換える

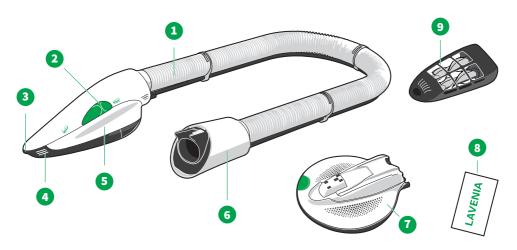
- 1. ハードフロアノズルを反対向きに柔らかい敷物の上に置きます。
- ブラシプレート(1)をとるためにロックレバー(2)を使います。
- 3. ブラシプレートを上に持ち上げ、取り出します(2)。
- 4. 新しいブラシプレートを先述の順番と反対に行い、はめ込みます。前部にある全てのフックに引っ掛かっているかご確認ください。
- 5. 解錠レバーの後部にあるブラシプレートをカチッと音がなる まで下に押してください。
- 6. 前部にあるブラシプレートが完全に引っ掛かり、かみ合って いるかもう一度チェックしてください。

9.5 技術仕様

Kobold HD7 ハードフロアノズル	
重量	約950 g
最長ノズル幅	約270 mm
ノズルの高さ	約75 mm
騒音レベル	ハードフロア 78 (A) re 1pW (ハードフロアで Kobold VK7 充電式コードレスクリーナー と Kobold HD7 ハードフロアノズルを使用)

10 コーボルト PB7 寝具・布製品用 電動パワーブラシとコーボルトMP7/MR7 マットレスクリーニングセット

10.1 製品の概要



Kobold PB7 寝具・布製品用 電動パワーブラシについて		
1. ホース	6. 接続部	
2. スライドスイッチ	7. Kobold MP7 マットレスフレッシュナーキット	
3. 隙間用ダストケースの吸引口	8. ラベニア マットレスクリーニングパ ウダー(洗浄剤)	
4. グリップの部分	9. Kobold MR7、マットレス用吸引アタッ チメント	
5. アタッチメント装着部		

10.2 操作

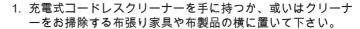
充電式コードレスクリーナーを寝具・布製品用電動パワーブラシと接続して使用するには横にして 折りたたみ式回転ハンドル [▶ 25] を持ち使用するか、 ショルダーストラップを使用する [▶ 90] ことが出来ます。

10.2.1 性能レベルとラベニアモードについて



ディスプレイ	性能レベル 1
1.	ラベニアモード 充電式コードレスクリーナーのモーターを止め、寝具・布製品用電動 パワーブラシのモーターだけは稼働し続けます。そうすることでブラ シだけが回転します。
2.	レベル <i>min(ソフト</i>) で寝具・布製品用電動パワーブラシは接続した状態で充電式コードレ スクリーナーのスイッチをいれる度にデフォルトでこの吸引レベルで スタートします。
3.	レベル med(中)
4.	レベル <i>max(強)</i> 隙間や溝の箇所にある吸引困難なゴミ用に最強のパフォーマンス
5.	ブースト ブーストボタンを長く押すことで一時的な最高のパフォーマンス

10.2.2 布張り家具、布製品のお掃除



- 2. 充電式コードレスクリーナーを床の上で引きずらないように ご注意ください。
- 3. 性能レベルを+/- ボタンで変えて下さい。
- 4. 汚れの程度により、それに適した吸引レベルを選んでください。



10.2.3 布張り家具表面などのお掃除

- 緑色のスライド (1)を 「平面の掃除」ポジション (2)に移動させます。
- 2. 作業中の寝具・布製品用電動パワーブラシの吸引口が布張り 製品の表面に完全に当たるようにしてください。
- 3. 圧力をかけないようにして、電動パワーブラシを軽く動かしてください。



10.2.4 継ぎ目や溝のお掃除

- 緑色のスライド (1)を「継ぎ目の吸引」ポジション (3)に 移動させます。
- 2. 継ぎ目や溝などに入り込んだ取り除きにくいゴミを吸引する場合は、吸引レベル 「強(max)」設定のお掃除がベストです。



10.2.5 マットレスのお掃除

マットレスのクリーニングやお手入れにはラベニアがおすすめです。ラベニアはTÜV NORD(北ドイツ技術検査協会)に「アレルギー患者推奨」の認定を受けているため、安心してお使いいただけます。

ラベニアは表面がピンと張った布地の全てのマットレスにお使いいただけます。布地家具のクリーニングにはラベニアは適しておりません。ラベニアー袋でおよそ1×2mのマットレス表面のディープクリーニングが可能です。



1. 吸引アタッチメント(1)のグリップ部分を寝具・布製品用電動パワーブラシから下向きに引っ張ります。



2. アタッチメントの接続部分(3)を寝具・布製品用電動パワーブラシの接続部分(4)と合わせ、寝具・布製品用電動パワーブラシにはめ込むようにして、マットレス吸引アタッチメント(2)を寝具・布製品用電動パワーブラシ上部に装着します。



- 3. 充電式コードレスクリーナーのスイッチをオンにします。このとき、寝具・布製品用電動パワーブラシが「平面の掃除」のポジション(5)になっていることを確認してください。
- 4. マットレス吸引アタッチメントでマットレスを吸引します。
- 5. 充電式コードレスクリーナーのスイッチを再びオフにします。
- 6. ラベニアー袋分(120g)をマットレスに均一に振りかけます。
- 7. アタッチメントを交換します。交換する際マットレス用吸引 アタッチメントのグリップ部分を持ち、寝具・布製品用電動 ブラシから下向きに引っ張ります。



8. アタッチメントの接続部分を寝具・布製品用電動ブラシの接続部分と合わせ、そしてアタッチメントを回転させながら寝具・布製品用電動パワーブラシにはめ込むようにして、マットレスフレッシュナーキット(6)を装着します。



- 9. 充電式コードレスクリーナーを「ラベニアモード」に調節します。そのためには下方にある+/- ボタンを一度押します。
- ⇒ 突起付きディスクが回転し始めます。充電式コードレスクリーナーのモーターは止まり、寝具・布製品用電動パワーブラシのモーターだけは稼働し続けます。



- 10.ラベニア(7)をマットレスフレッシュナーキット(8)で2 ~3分間約1 x 2 mの表面になじませます。その時に、マット レスフレッシュナーキットの上に力を入れないで作業してく ださい。
 - マットレスフレッシュナーキット上を力を入れて作業すると、寝具・布製品用電動パワーブラシはマットレスを損害から守るため、自動的に止まります。一度強く押し付けた場合には充電式コードレスクリーナーのスイッチを切ってから再び入れ直し、お掃除を続けて下さい。
- 11.ラベニアのパウダー(7)を約30分間完全に乾燥させます。 このとき、室内を十分に換気してください。



- 12.マットレスフレッシュナーキット(8)をマットレス用吸引 アタッチメント(11)と交換します。それから緑色のロックキー(10)を外側にスライドし、ロック解錠し、マットレス フレッシュナーキットを取りはずしてください。
- 13.まず初めにアタッチメントの先端接続部分を寝具・布製品用電動パワーブラシの接続部分と合わせ、そしてアタッチメントを水平に動かし、寝具・布製品用電動パワーブラシ上部にはめ込むようにして、マットレス吸引アタッチメント(11)を寝具・布製品用電動パワーブラシ(9)に装着します。



- 14.充電式コードレスクリーナーのスイッチをオンにします。このとき、寝具・布製品用電動パワーブラシが「平面の掃除」のポジション(12)になっていることを確認してください。
- 15.乾いたラベニアを寝具・布製品用電動パワーブラシで吸い取り、再びマットレス吸引アタッチメントを吸引レベル「中」でお掃除ください。

10.3 メンテナンス

注音



電動部分で怪我をする恐れあり!

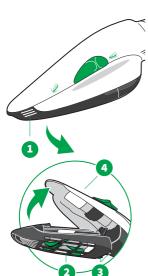
電動部分で怪我をする危険があります。

- 付属アタッチメントの付け替え、クリーニング、メンテナンス作業前に は常に充電式コードレスクリーナーの電源を切ってください。
- 付属品の付け替え、お手入れ、メンテナンス作業前には充電式コードレスクリーナーからアタッチメントを取り外して下さい。
- 電動部分と距離をとってください。
- 振動部分には絶対に指で触れないでください。
- アタッチメントなしで寝具・布製品用パワーブラシを扱わないでください。
- 寝具・布製品用電動パワーブラシが作動中にマットレスクリーニング用のアタッチメントを取り外さないでください。

10.3.1 スペアパーツと消耗品

長く製品をご愛用いただくためにもスペアパーツや消耗品はフォアベルクの正規品をお求めください。寿命が近づいているものはお早目の交換をお勧めいたします。再注文に関する詳細につきましてはカスタマーサービス [▶ 106]と アプリMyKobold [▶ 32] をご覧ください。





- 1. 寝具・布製品用電動パワーブラシを充電式コードレスクリーナーから取り外します。
- 2. 吸引アタッチメント(1)を下に引き離します。
- 3. アタッチメントをにブラシをかけるか、乾拭きしてください。
- 4. ブラシローラーに糸くずや髪の毛が巻きついていないか、吸引アタッチメントを定期的に点検してください。
- 5. 糸くずや髪の毛を小さいハサミでカットして取り除いてくだ さい。
- 6. 吸引アタッチメント(2)の装着時にまず吸引アタッチメントの装着部(3)を寝具・布製品用電動パワーブラシの開口部(4)にはめ込み、ねじるようにして装着します。
- 7. 吸引アタッチメントのグリップ部分を持ち、寝具・布製品用パワーブラシ上部に押しつけます。吸引アタッチメントがカチッとロックされることを確認してください。



10.3.3 マットレスフレッシュナーキットのお掃除

クリーニング後にラベニアが突起ディスクに付着していると、 その後のキットの使用に支障が出ることがあります。

- 1. 毎回マットレスクリーニング後に突起ディスクに汚れが付着していないか確認してください。
- 2. 付着したラベニアをふき取ってください。

突起ディスクは取り外して水洗いすることができます。次の手順で進めてください。

- 1. マットレスフレッシュナーキット (2) を寝具・布製品用電動パワーブラシ (1) に付けます。
- 2. 突起部ディスクを回して外します(差し込み接続)(3)。 このとき、突起ディスクのマーク(ロック)に注意してくだ さい。
- 3. 水洗いし、乾いたら突起ディスクを反対向きに回しながら (4)再び装着します。

10.3.4 マットレス吸引アタッチメントのお掃除



ラベニアはマットレス吸引アタッチメントに付着する場合があります。

- 1. 毎回の使用後にラベニアがマットレス吸引アタッチメントに 付着していないかチェックしてください。
- 2. そしてマットレス吸引アタッチメントを(1)を寝具・布製品用 電動パワーブラシのグリップ部分から下向きに外します。
- 3. 付着したラベニアを吸い取ってください。決してマットレス 吸引アタッチメントや寝具・布製品用電動パワーブラシを水 洗いしないでください。
- 4. アタッチメントの接続部分(3)を寝具・布製品用電動パワーブラシの接続部分と合わせ、そしてアタッチメントを回転させながら寝具・布製品用電動パワーブラシ上部にはめ込むようにして、再びマットレス吸引アタッチメント(2)を寝具・布製品用パワーブラシ上部に装着します。

10.4 技術仕様

Kobold PB7 寝具・布製品用電動パワーブラシ、Kobold Mp7マットレスフレッシュナーキットと Kobold MR7 マットレス用吸引アタッチメント付き

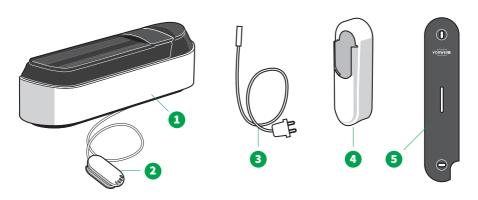
認証マーク	(E DE III)
本体材質	高品質リサイクル可能なプラスチック、取り外し可能な吸引口付き ダストケース部は耐衝撃性ポリアミド製
モーター	メンテナンスフリーのDCモーター(ダイレクトドライブ)
ブラシのメカニズム	逆方向に回転する2本のブラシローラーで構成(約4,000rpm) 、メ ンテナンスフリー
定格消費電力	3 5 Watt
電圧	28.8 V
重量	Kobold PB7 寝具・布製品用電動パワーブラシ: 約 1200 g Kobold MP7 マットレスフレッシュナーキット: 約 440 g Kobold MR7 マットレス用吸引アタッチメント: 約 150 g
寸法	Kobold PB7 寝具・布製品用電動パワーブラシ(ホース付き): 高さ: 約10 cm 幅: 約8 cm 長さ: 約154 cm
	Kobold MP7マットレスフレッシュナーキット: 高さ: 約6 cm 幅: 約18 cm 長さ: 約20 cm
	Kobold MR7、マットレス用吸引アタッチメント: 高さ: 約7 cm 幅: 約8 cm 長さ: 約18 cm
騒音レベル	82 dB (A) re 1 pWは布張り家具表面での Kobold VK7の EN 60704-2-1に準拠 85 dB (A) re 1 pW は Kobold MP7 マットレスフレッシュナーキッ

Kobold PB7 寝具・布製品用電動パワープラシ、Kobold Mp7マットレスフレッシュナーキットと Kobold MR7 マットレス用吸引アタッチメント付き

ト 82 dB (A) re 1 pW は Kobold MR7 マットレス用吸引アタッチメン ト

11 コーボルト PC7 プレミアム充電 器

11.1 製品の概要

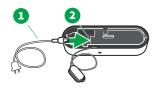


Kobold PC7 プレミアム充電器について

- 1. Kobold PC7 プレミアム充電器と装着 済みバッテリー
- 2. 充電コネクター
- 3. 接続ケーブル

- Kobold WM7 充電式コードレスクリーナーの壁面装着用部品
- 5. Kobold WMP7 プレミアム充電器の装 着プレート

11.2 接続ケーブルをつける



• 接続ケーブル(1)をプレミアム充電器(2)の底面にある充電 ソケット (2)に差し込んで下さい。

11.3 壁面への取り付け

充電式コードレスクリーナーはプレミアム充電器と繋いだまま 壁面へ収納し、同時に充電も出来ます。

警告



感電の恐れあり!

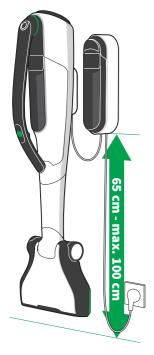
壁に留め金用の穴をあける際に感電することがあります。

• 壁に穴をあける際に(特にコンセント付近や電気のスイッチ)電気線上 を穿たないようご注意ください。

11.3.1 壁面に吊るして設置する場所について

充電式コードレスクリーナーを吊るして設置できる場所として、次の条件を満たすようご注意ください:

- コンセント付近。但し、決して直接コンセントの上下縦のラインに設置しないでください。ここは非常に高い確率で電流が走っている可能性があります。常に設置位置の状況に注意し、電流が通っている場所をチェックしてください。
- 少なくとも床から65 cm以上、**100 cm以下の位置に設置して ください。**
- 充電式コードレスクリーナーはアタッチメントと一緒に保管できるよう、少なくとも 30 cm幅の空間がある場所に保管してください。



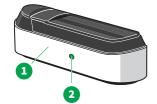


順を追ったガイダンスについては、 Kobold PC7 プレミアム充電 器に同封の取付の説明をご覧ください。

11.4 プレミアム充電器で充電する

充電式コードレスクリーナーを Kobold SC7 充電器で充電するには、充電器で充電する [▶ 28] をご覧ください。

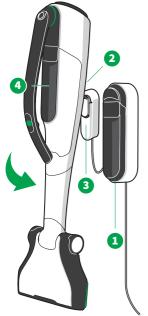
11.4.1 初めてプレミアム充電器で充電する



新しいバッテリーはお引き渡し時には完全に充電された状態で はなく、トランスポートモードになっております。

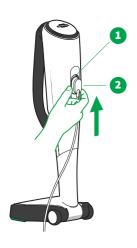
- 初回の充電作業又は電圧がゼロからの充電作業をするには、 プレミアム充電器(1)の本体左側にあるアクティベーショ ンキー(2)を押してください。
- ⇒ ディスプレイがつき、充電します。 (充電表示 [▶ 29]を参照)

11.4.2 充電式コードレスクリーナーをプレミアム充電器で充電する



充電式コードレスクリーナーを吊るした状態で充電する

- 1. 指定の交流電圧の電圧にご注意ください。
- 2. プレミアム充電器(1)を電源コンセントに差し込みます。
- 3. 充電式コードレスクリーナーを充電ポート (2) と共に接続 部分 (3) につるします。
- ⇒ ディスプレイ(4)がつき、充電を開始します[▶29]。
- ⇒ ディスプレイ(4)が点かない場合、プレミアム充電器のアクティベーションキーを押してください [▶85]。

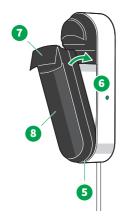


充電式コードレスクリーナーを立てて置いた状態で充電する

- コードレスクリーナーを 停止ポジション [▶ 26]にして下さい。
- 2. プレミアム充電器が滑らないよう、清潔で安定した平面に置きます。
- 3. 指定の交流電圧の電圧にご注意ください。
- 4. 接続ケーブルを電源コンセントに差し込みます。
- 5. 充電コネクター(2)を充電式コードレスクリーナーの充電ポートの中に下から押し込んで下さい(1)。
- ⇒ ディスプレイがつき、充電が始まります [29]。
- ⇒ ディスプレイ(4)が点かない場合、プレミアム充電器のアクティベーションキーを押してください [▶85]。

11.4.3 別の充電式バッテリーをプレミアム充電器で充電する

充電式コードレスクリーナーとプレミアム充電器にある別の充電式バッテリーは接続している状態で、まずは充電コネクターに接続している方の機器が充電されます。その後、プレミアム充電器にある充電式バッテリーが自動的に充電されます。



別の充電式バッテリーは吊るされたまま充電されます。

- 充電式バッテリーの下の部分から(5)プレミアム充電器 (6)にはめ込みます。
- 2. それから充電式バッテリーを充電容器の上の部分に完全にねじ込みます。
- 3. 充電式バッテリーのレバー (7)を押し、カチッと音がするようにロックします。
- ⇒ ディスプレイ(8)がつき、充電が始まります[▶29]。
- ⇒ ディスプレイ(8)が点かない場合、プレミアム充電器のアクティベーションキーを押してください [▶ 85]。



別の充電式バッテリーを充電する

- 1. プレミアム充電器(1)が滑らないよう、清潔で安定した平面に置きます。
- 2. 指定の交流電圧の電圧にご注意ください。
- 3. 接続ケーブルを電源コンセントに差し込みます。
- 4. まず初めに充電式バッテリー(2)の下の部分をプレミアム 充電器の中の上部に装着します。
- 5. 充電式バッテリーを充電容器の中の上の部分に完全にねじ込みます。
- 6. 充電式バッテリーのレバーを押し、カチッと音がするように ロックします。
- ⇒ ディスプレイがつき、充電が始まります [≥ 29]。
- ⇒ ディスプレイが点かない場合、プレミアム充電器のアクティベーションキーを押してください [▶ 85]。

11.5 技術仕様

Kobold PC7 プレミアム充電器		
認証マーク	C E AND	
入力電圧	100 VAC	
入力交流周波数	50/60 Hz (自動変換)	
出力電圧	37 VDC	
出力電流	1.3 A	
出力電力	48.1 W	
平均運用効率	> 87,77 %	
低負荷での効率 (10%)	> 75 %	
無負荷時の消費電力	0 W	
カテゴリー:	PC7	

12 コーボルト 付属アタッチメント及 びアクセサリー

12.1 ノズルアソートメント

注意

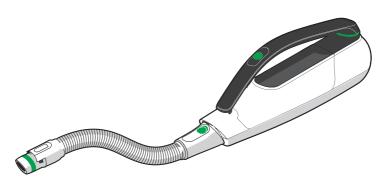


不適切な使用による損傷の恐れあり!

ノズル製品(Kobold 付属アタッチメント)の不適切な使用により床の表面を傷つける恐れがあります。

• ノズル製品を光沢のある、又は磨かれた床の表面に使用しないでください。

ノズルアソートメントは様々な家の中のお掃除の問題を解決してくれます。



- フレックスホースを充電式コードレスクリーナーに繋いでください。その場合には、以下のノズルをお使いになれます。
- ノズルを使った様々なクリーニング作業では、充電式コードレスクリーナーを安全に手で持つか或いは肩に下げるか、又は安全な場所に置いて下さい。



平面用ノズル(1)は多機能で様々な表面のお掃除にお使いになれます。

しかも平面用ノズルはブラシプロテクトがついています。ブラシ プロテクトは収納用として恒常的に使用できます。

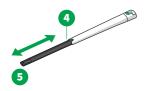
ブラシプロテクトをクリーニングの前に外すことを忘れないでく ださい。



自動車用カーノズル(2)は車内のクリーニング使用に理想的で す。



延長パイプは高い場所のクリーニングに理想的です。例えば、平面用ノズル(3)と併用又はテキスタイル用ノズルと接続して使用できます。



すきまノズルは多用途に使用してください。すきまノズルにはそれぞれ違う用途の2つのアタッチメントがあります:

- (5)狭い場所用の延長可能でフレックスな先端
- (6)毛ブラシ:小さな隙間、幅木
- (7)掘削ダストノズル:ドリルで掘削作業中の屑を吸引





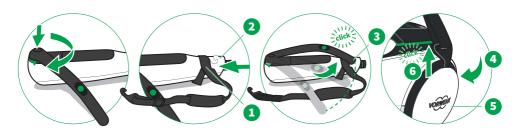
テキスタイル用ノズル(8)は特に、布張り用家具とテキスタイルのクリーニング用に開発されました。





アタッチメントのスライドボタン(1)を後ろにスライドし (2)、それからアタッチメントを外してロック解除します。

12.3 コーボルト SG7 ショルダーストラップ



充電式コードレスクリーナーは Kobold SG7 ショルダーストラップにかけることが出来ます。それにより両手が空き、充電式コードレスクリーナーを手で持つ必要がなくなります。

- 1. 回転ハンドルをカチッとなるまで回した [▶ 25]**かご確認くだ** さい。
- 2. ショルダーストラップのショルダーパット(1)を充電式コードレスクリーナーの前部分(2)の方にスライドします。
- 3. 回転グリップをグリップ安全装置(3)にねじ込みます。
- 4. ショルダーストラップ(4)を充電式コードレスクリーナー の排気口の上部にある取り付けバー(5)に引っ掛けます。
- 5. ストラップがカチッとはまるまで上に引っ張ります(6)。

13 トラブルシューティング

注意



電動部分で怪我をする恐れあり!

電動部分で怪我をする危険があります。

- 付属アタッチメントの付け替え、クリーニング、メンテナンス作業前に は常に充電式コードレスクリーナーの電源を切ってください。
- 付属アタッチメントの付け替え、お手入れ、メンテナンス作業前には充電式コードレスクリーナーからアタッチメントを取り外して下さい。
- 電動部分と距離をとってください。
- 振動部分には絶対に指で触れないでください。

13.1 エラーコードによるトラブル発生

エラーコード	原因	トラブル発生
00.	充電バッテリーが 充電されていない ことで充電式コー ドレスクリーナー はスタートしませ ん。	バッテリーを充電してください [▶ 27]。この問題が再発する場合、アフターサービス [▶ 106]までご連絡ください。
Er 10 + シンボ ル	充電式コードレス クリーナーの一般 的なトラブルにつ いて。	 充電バッテリーを取り外し、そして再び取り付けます [▶ 40]、そして充電式コードレスクリーナーの電源を入れてください。 この問題が再発する場合、アフターサービス [▶ 106]までご連絡ください。
Er 11 + シンボル	充電式コードレス クリーナーが過熱 しています。	 充電式コードレスクリーナーを室内温度で冷やしてください。 場合によりプレミアムフィルターバックをお取替えください [▶ 37]。 電流の通り道をあけてください。アタッチメントを外します、そして充電式コードレスクリーナーの吸引管からごみを取り除いて下さい。 アタッチメント内のゴミを排除してください。
Er 14 + シンボ ル	異物によりブロア – (送風機)がブロ ックされていま す。	充電式コードレスクリーナーのフィルタールームブロアーの入り口にある異物を取り除いて下さい。この問題が再発する場合、アフターサービス [▶ 106]までご連絡ください。

エラーコード	原因	トラブル発生
Er 19 + シンボル	一般的な充電式コ ードレスクリーナ ーのトラブルにつ いて。	 充電バッテリーを取り外し、そして再び取り付けます [▶40]、そして充電式コードレスクリーナーの電源を入れてください。 この問題が再発する場合、アフターサービス
		[▶ 106]までご連絡ください。
Er 23 + シンボ ル	充電式バッテリー の電気接触にトラ ブルが発生しまし	- 充電バッテリーを取り外してください [▶ 40]。 - ゴミ、埃などの接触がないかチェックしてくださ
	た。	ر، د
		- 再び充電式バッテリーをはめ込み、 充電してくだ さい [▶ 27]。
		- この問題が再発する場合、 アフターサービス [▶ 106]までご連絡ください。
Er 25 + シンボ ル	充電式バッテリー 内部にトラブルが 発生しました。	- この問題が再発する場合、 アフターサービス [▶ 106]までご連絡ください。
Er 26 + シンボ ル	充電式バッテリー が凍結していま す。	- 充電式コードレスクリーナーを室内温度で温めてく ださい。
	 充電式バッテリー	
ν Λ	認証が出来ませ ん。	フォアベルクのオリジナル充電式バッテリーのみを ご使用ください。
	 充電式バッテリー	- 充電器を電力供給から外してください。
ル	の充電が出来ませ	- 元電器を充電式コードレスクリーナーから外すか、
△	h.	- 元電器を元電式コートレスプリーナーから外すが、 或いは充電器の充電アダプターから外してくださ い。
		- 充電バッテリーを取り外して下さい [▶ 40]。
		充電式バッテリーにゴミ、埃などの接触がないかチェックしてください。
		充電器の充電コネクターと、充電式コードレスクリーナー/充電アダプターの充電ポートのゴミ、ほこりなどの接触がないか、チェックしてください。
		- 全ての充電接続をもう一度行って下さい。
		– バッテリーを充電してください [▶27]。
	充電式コードレス	- バッテリーを取り出してください [▶ 40]。
ル クリーナーの電源 が切れません。	- 再び充電式バッテリーを入れて下さい。	
	· = · •	- この問題が再発する場合、 アフターサービス [▶ 106]までご連絡ください。

エラーコード

トラブル発生

Er 30 + シンボ 一般的な床拭き/吸 ル

引兼用ハードフロ アクリーナーのト ラブルについて。

原因

- バッテリーを取り外し、再び取り付けて下さい [▶40]、そして充電式コードレスクリーナーの電源 を入れてください。
- この問題が再発する場合、アフターサービス [▶ 106]までご連絡ください。

Er 32 + シンボ 床拭き/吸引兼用ハ ル

ードフロアクリー ナーのモーターが 酷く摩耗していま す。

- 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーを別の床 で試すか、或いは別のクリーニングクロスを使用し てお試しください。
- この問題が再発する場合、アフターサービス [▶ 106]までご連絡ください。

Er 35 + シンボ ル

床拭き/吸引兼用ハ ードフロアクリー ナーで水分が入り 込みました。

このクリーナーは湿式クリーナーではありませんの で、水分を吸い込んだ場合、エラーモードになりま す。

- 充電式コードレスクリーナーのスイッチをオフにし て下さい。
- 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーの通気カ バー(1)を開けて下さい。
- キッチンタオル等でその部分を拭いて下さい。
- クリーナーが完全に乾いたら、通気カバーを閉じ、 再び充電式コードレスクリーナーのスイッチを入れ て下さい。
- 濡れている場所の吸引はやめて下さい。
- この問題が再発する場合、このプロセスを繰り返 してください。

Er 36 + シンボ 床拭き/吸引兼用ハ ル

ードフロアクリー

- 充電式コードレスクリーナーのスイッチを切り、再 び入れてください。

ナーの電子機器に トラブルが発生し ました。

ル

Er 40 + シンボ 一般的な電動パワ ーブラシのトラブ ルについて。

- 充電バッテリーを取り除き、そして再び取り付けて 下さい [▶ 40]、そして充電式コードレスクリーナー の電源を入れてください。
- この問題が再発する場合、アフターサービス [▶ 106]までご連絡ください。

ル

Er 41 + シンボ 電動パワーブラシ が過熱していま す。

- 電動パワーブラシを室内温度で冷やしてください。
- 場合によりプレミアムフィルターバックをお取替え ください [▶ 37]。

電動パワーブラシの吸引ダクトが詰まっている可能性 があります。

- 電動パワーブラシの底部分にある通気カバー(1) を開けてください。

エラーコード

原田

トラブル発生

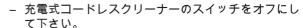


- 詰まっているものを取り除いて下さい。
- その場合に見合った器具をご使用ください(例えば かぎ針など)。
- 再び通気カバー(1)をつけて下さい。

Er 42 + シンボ ル

電動パワーブラシ のモーターが酷く 摩耗しています。

吸引した物が電動パワーブラシのブラシローラーをブ ロックしています。



- 軍動パワーブラシを充電式コードレスクリーナーか ら取り外します。
- ブラシローラーにある吸引物を取り除いて下さい。

髪の毛や糸が電動パワーブラシのブラシローラーをブ ロックしている可能性があります。

- 糸を切り、取り除いて下さい [▶ 52]。

毛が非常に軽く詰まっている或いは毛足の長いカーペ ットが、電動パワーブラシのブラシローラーに大きな 負担をかけている可能性があります。

- 電動パワーブラシをカーペットから少し持ち上げ、 ハードフロアに置いて下さい。
- ブラシローラーのスイッチを切り [▶47]、そしてク リーニング中のカーペットの掃除を続けて下さい。
- 必要であれば、最小の 吸引レベル [▶ 47]でご使用く ださい。

ル

Fr 43 + シンボ 電動パワーブラシ の電気接触にトラ ブルが発生しまし た。

- 電動パワーブラシを外してください。

- 電動パワーブラシと充電式コードレスクリーナーの 間のプラグ接続部にごみや埃などがないかチェック し、必要であればその接続部をきれいにしてくださ (1₀

Er 46 + シンボ 電動パワーブラシ の電子機器にトラ ブルが発生しまし

- 充電式コードレスクリーナーのスイッチを切り、再 び入れてください。

ル

Er 63 + シンボ 一般的なアタッチ メントのトラブル について。

- アタッチメントを取り外してください。

ル

- アタッチメントと充電式コードレスクリーナーの間 のプラグ接続部にごみや埃などがないかチェック し、必要であればその接続部をきれいにしてくださ (1)



13.2 問題の対処方法によるトラブルシューティング

Kobold VK7 充電式コードレスクリーナー 本体

注意



電動部分で怪我をする恐れあり!

電動部分で怪我をする危険があります。

- 付属アタッチメントの付け替え、クリーニング、メンテナンス作業前に は常に充電式コードレスクリーナーの電源を切ってください。
- 付属アタッチメントの付け替え、お手入れ、メンテナンス作業前には充電式コードレスクリーナーからアタッチメントを取り外して下さい。
- 電動部分と距離をとってください。
- 振動部分には絶対に指で触れないでください。

トラブル

考えられる原因とその解決法

Bluetooth® のスイッチが切れない。

- +/- ボタンのどちらかを押し、ブーストボタンを同時に6秒 以上長く押し続ける。(1)。



充電式バッテリーが壊れています(考えられる兆候: 充電終了後、ディスプレイは充電の際、何も示さず、 充電式コードレスクリーナーが機能しない。)

充電式バッテリーは過熱又は凍結した可能性があります。

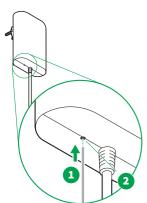
- 充電式バッテリーを取り除いて下さい。
- 充電式バッテリを一日室温で冷やすか、或いは温めて下さい。
- カスタマーサービス [▶ 106]にご連絡ください。
- 充電バッテリーを指示に従い処理して下さい。

充電式バッテリーが機能しない。

充電式バッテリーが機能し Kobold SC7 充電器をお持ちの場合:

- この充電器を充電式コードレスクリーナー或いは別の充電 アダプターと接続してください。
- 充電式バッテリーが充電式コードレスクリーナー又は充電 アダプターに適切に接続しているかご確認ください。

考えられる原因とその解決法



- 充電器の下方にあるリセットボタン(2)をそれに見合ったもの(1)で押してください。
- 充電式バッテリーを完全に充電してください。

Kobold PC7 プレミアム充電器をお持ちの場合:

- 初めてプレミアム充電器で充電する [▶ 85] に記載のように 行って下さい。

バッテリーレベルが突然 0 %に下がった場合、充電式バッテリーを完全に充電してください。

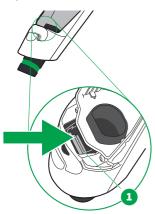
運転時に充電式コードレス クリーナーの性能レベルが はっきりと聞こえるように 変化する。

充電式コードレスクリーナーを高い性能レベルに変えたにもかかわらず、上がっていない。

スマートなモーター保護システムにより、充電式コードレスク リーナーは最適の性能レベルを提供します。

- ノズルを布張り家具の上を上下に動かしてください。
- 気道とプレミアムフィルターバックのゴミ詰まりをチェックしてください。
- 充電式コードレスクリーナーを暑すぎない場所で保管してください。(例えば、夏の車内、直射日光の下など)
- 充電式コードレスクリーナーを室内温度で冷やしてください。

リモートロックが出来ない。アタッチメントが充電 式コードレスクリーナーの 回転グリップで取り外せない。



リモートロックが壊れている可能性があります。アタッチメントの取り外しに、非常ロックをお使いください。

- フィルターカバーを外してください。
- 細長い物で(例えばスクリュードライバーや定規など)白い非常ロック(1)を押してください。
- アタッチメントを非常ロックを押して外してください。

注意



電動部分で怪我をする恐れあり!

電動部分(例えば、ローラーブラシ)で怪我をすることがあります。

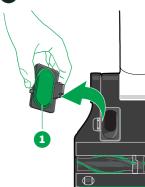
- 付属アタッチメントの付け替え、クリーニング、メンテナンス作業前に は常に充電式コードレスクリーナーの電源を切ってください。
- 付属アタッチメントの付け替え、お手入れ、メンテナンス作業前には充電式コードレスクリーナーからアタッチメントを取り外して下さい。
- 電動部分と距離をとってください。
- 振動部分には絶対に指で触れないでください。

トラブル

考えられる原因とその解決法

「*フィルターの交換*」のシンボルは、プレミアムフィルターバックが一杯でない 状態でも光るか或いは点滅します。





「*フィルターの交換*」のシ 電動パワーブラシの吸引ダクトが詰まっている可能性がありま ンボルは、プレミアムフィ す。

- 電動パワーブラシの底部分にある通気カバー(1)を開けてください。
- 詰まっているものを取り除いて下さい。
- その場合に見合った器具をご使用ください(例えばかぎ針など)。
- 再び通気カバー(1)をつけて下さい。

非常に毛の詰まったカーペットを吸引すると、フィルターバックは交換する必要がなくても「*フィルターの交換*」のシンボルが光る可能性があります。

- クリーニング時にノズルを軽く前後に動かしてください。

吸い取られたごみの内容物により、フィルター交換 の表示は プレミアムフィルターバックの交換を示す場合があります。細 かい塵を多く吸引した可能性があります。

- プレミアムフィルターバックを交換してください [▶ 37]。

Kobold 電動パワーブラシの ブラシローラーがきちんとはまっていない可能性があります。 作動音が多きすぎる。

- ブラシローラーがきちんとはめ込まれているか、チェック して下さい。
- ブラシローラーが壊れている場合は、常に両方のブラシローラーを交換してください。

Kobold フォアベルク社製の正規品アタッチメントが使用されていない可能性があり、その場合ベアリングとモーターの損傷を引き起こすことがあります。

ブラシローラーは必ず Koboldフォアベルク社製の正規品を ご使用ください。

考えられる原因とその解決法

ブラシローラーの部位に何かが入り込んでいる可能性がありま す。

- その物体を取り出してください。

ハードフロアのクリーニング時に大きな音を立てる可能性があ ります。

- ブラシモード「吸引レベル4-カーペット強」はハードフ ロアに不適合で、騒音を立てます。別のブラシモードに変 えて下さい。

髪の毛が絡まっている可能性があります。

ブラシローラーをきれいにしてください [▶ 50]。

敷居(床と床の間)を通過時にゆっくり走行した可能性があり ます。

- 敷居は出来るだけ早く走行してください(一秒以内)。 とても毛の短いカーペット上を掃除し、自動モードによりカー ペットからハードフロアモードへの変換があった可能性があり ます。

- 個人用クリーン設定 [▶ 49]をご使用ください。

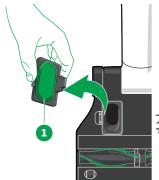
一に絡みつきました。

毛や髪の毛がブラシローラ 糸や髪の毛が電動パワーブラシのブラシローラーをブロックし ている可能性があります。

- 糸や髪の毛を切り、取り除いて下さい [▶ 52]。
- 必要があれば、髪や糸をメタルウェーブから取り除いて下 さい。

電動パワーブラシがきちん と吸い込まない。

電動パワーブラシの吸引ダクトが詰まっている可能性がありま



- 電動パワーブラシの底部分にある通気カバー(1)を開け てください。
- 詰まっているものを取り除いて下さい。
- その場合に見合った器具をご使用ください(例えばかぎ針) など)。
- 再び通気カバー(1)をつけて下さい。

プレミアムフィルターバックが一杯になった可能性がありま す。

- プレミアムフィルターバックを取り換えて下さい [▶ 37]。

か動かない。

電動パワーブラシがなかな 吸引レベルが高すぎる可能性があります。

- 充電式コードレスクリーナーのハンドグリップにある吸引 レベルをより低くしてください。

ブラシローラーの交換後、 クリーナーが作動しない。 ブラシローラーがきちんとはまっていない可能性があります。

トラブル

考えられる原因とその解決法

- ブラシローラーをシャフトに正確に装着してください [» 52]_o

電動パワーブラシは充電式コードレスクリーナーときちんと接 続していない可能性があります。

- 電動パワーブラシと充電式コードレスクリーナーのプラグ 接続がきちんとはまっているかチェックしてください。

動しない。

自動モードが平常通りに作 ブラシローラーに汚れがついている場合があります。

ブラシローラーをきれいにして下さい [▶ 50]。

Kobold 正規品のアタッチメントが使用されていない可能性があ ります。

- ブラシローラーは必ず Koboldフォアベルク社製の正規品を ご使用ください。

ブラシローラーがきちんとはまっていない可能性があります。

- ブラシローラーをシャフトに正確に装着してください [» 52]_°

前部又は後部のシールリッ プが壊れている。

前部のシールリップが壊れている。

- 電動パワーブラシを カスタマーサービス [▶ 106]にお送り ください。

後部のシールリップが壊れている。

- 新しい後部のシールリップをご注文下さい。
- 後部のシールリップを取り換えて下さい [▶ 53]。

Kobold SP7 床拭き/吸引兼用 ハードフロアクリーナー



電動部分で怪我をする恐れあり!

電動部分(例えば、ブラシローラー等)で怪我をすることがあります。

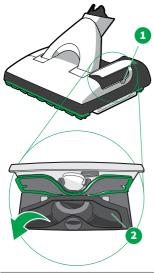
- 付属アタッチメントの付け替え、クリーニング、メンテナンス作業前に は常に充電式コードレスクリーナーの電源を切ってください。
- 付属アタッチメントの付け替え、お手入れ、メンテナンス作業前には充 電式コードレスクリーナーからアタッチメントを取り外して下さい。
- 電動部分と距離をとってください。
- 振動部分には絶対に指で触れないでください。

トラブル

考えられる原因とその解決法

「フィルターの交換」のシ ンボルは、プレミアムフィ ルターバックが一杯でない 状態でも光るか或いは点滅 します。





床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーの吸引ダクトが詰まっ ている可能性があります。

- 充電式コードレスクリーナーのスイッチをオフにして下さ (,)
- クリーナーの左側にある通気カバーを開いてください。 そのためにはコインをスリットに入れ込んで下さい (1)。吸引ダクトが見えるようになります(2)。
- 吸引ダクトに詰まっているゴミを取り除いてください。そ の場合に見合った器具をご使用ください(ドライバーやか ぎ針など)。
- 再び通気カバーを閉じてください。 通気カバーがロックし、しっかりと閉まっていることを確 認してください。
- シールリップのフレームの間の吸引口に何も詰まっていな いかチェックしてください。必要に応じ、ゆすってゴミを 取り出してください。

吸い取られたごみの内容物により、フィルター交換の表示はプ レミアムフィルターバックの交換を示す場合があります。細か い塵を多く吸引した際にそのように示す可能性があります。

- プレミアムフィルターバックを取り換えて下さい [▶ 37]。

床拭き/吸引兼用ハードフロ アクリーナーの連結部が詰 まっている。

- 適切な器具で詰まっているゴミを取り除いてください(ド ライバーやかぎ針など)。

が出る。

床拭き/吸引兼用ハードフロ 通気カバーが正しく接続されていないか、クロスキャリアが正 アクリーナーから異常な音 しく取り付けられていない可能性があります。

- 通気カバーがきちんと閉じているかを点検し、そうでない 場合は閉じてください。
- クロスキャリアがしっかりはめ込まれているかを点検して ください。

タンクが正しく取り付けられていない可能性があります。

- 充電式コードレスクリーナーのスイッチをオフにして下さ (1_o
- タンクを取り付けて下さい [▶ 59]。
- その後コードレスクリーナーのスイッチを再び入れてくだ さい。

アクリーナーが異常に揺れ 動く。

床拭き/吸引兼用ハードフロ クリーニングクロスが正しく固定されていません。

クリーニングクロスがクロスキャリアにまっすぐにぴった り取り付けられているか、ご確認ください。

考えられる原因とその解決法

- クリーニングクロスの緑色の固定具がきちんと完全に入り、固定しているか、チェックしてください。

クロスキャリアが正しく装着していません。

- 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーのクロスキャリアが正しく固定されているか、チェックしてください。
- Kobold フォアベルク社製の正規品クリーニングクロスが使用されていない可能性があります。
- クリーニングクロスは必ず Koboldフォアベルク社の正規品をご使用ください。
- けば立った床には、Kobold クリーニングクロス・ユニバーサルをご使用ください。

床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーが床に掃き跡やストライプ模様をつける。

床拭き/吸引兼用ハードフロ シールリップフレームが汚れ、引っかかっている可能性がありアクリーナーが床に掃き跡 ます。

- 前部のシールリップフレームを取り外してください [▶ 65]。

クリーニングクロスがひどく汚れている可能性があります。

- クリーニングクロスを交換してください [▶ 64]。

床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーを使用したクリーニングで効果が見られない。

床拭き/吸引兼用ハードフロ シールリップフレームが汚れ、引っかかっている可能性があり アクリーナーを使用したク ます。

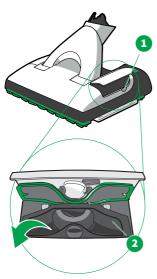
- シールリップフレームを取り外してください [▶ 65]、そしてきれいにしてください。
- 吸引口のシールリップ間に何か詰まっていないか下からチェックしてください。必要に応じ、床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーをゆすってゴミを取り出してください。
- シールリップフレームがきちんとはめ込まれているか、チェックして下さい。

クリーニングクロスが斜めにクロスキャリアプレートに固定され、シールリップフレームに被さっている可能性があります。

クリーニングクロスがクロスキャリアプレートに真っすぐ に固定されているか点検してください。

吸引ダクトが詰まっている可能性があります。

- ダクトの詰まりを取り除くには、床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーの左側の通気カバーを開けてください。そのためにはコインをスリットに入れ込んで下さい(1)。通気カバーの蓋が空きます。通気カバーを完全に開き、完全に吸引ダクトをチェックすることが出来ます。
- 吸引ダクトに詰まっているゴミを取り除いてください。その場合に見合った器具をご使用ください(ドライバーやかぎ針など)。



考えられる原因とその解決法

- 再び通気カバーを閉じてください。 通気カバーがロックし、しっかり閉まっていることを確認 してください。

アクリーナーを使用したク リーニング

床拭き/吸引兼用ハードフロ クリーニングクロスがひどく汚れている可能性があります。

- クリーニングクロスを交換してください [▶ 64]。

の性能が落ちる。

- クリーニングクロスが乾いている可能性があります。
- 充電式コードレスクリーナーのディスプレイ表示をチェッ クしてください。*雫*のシンボルが点滅すると、 タンクに洗 剤を入れ [▶ 59] なければなりません。
- 初めにクロスを一気に湿らせる機能を使うか 適性な加湿レ ベル [▶ 60]に設定してください。

ストライプ模様がつく。

初回の使用前に、クリーニングクロスを洗濯していない可能性 があります。

- クリーニングクロスを初めて使用する時は事前に洗って下 さい[64]。

洗剤の量を間違えて、多く入れすぎた可能性があります。

- きれいなクリーニングクロスと水でもう一度お掃除してく ださい。

床に前回のクリーニング洗剤の跡が残っている可能性がありま す。

- 改善が見られるまで、クリーニングを繰り返してくださ い。場合により入念にクリーニングする必要があります。

クリーニングクロスがひどく汚れている可能性があります。

- クリーニングクロスを洗って下さい [▶ 64]。

クリーニング後の床が均等に乾かない。

- 床に残った液体を2回目のクリーニング走行で、床拭き/吸 引兼用ハードフロアクリーナーをドライモードにして、乾 いたクリーニングクロスでおふき取りください。

床拭き/吸引兼用ハードフロ クリーニングクロスが正しく固定していない可能性がありま アクリーナー での角の部分のクリーニン グが十分でない。

– クリーニングクロスがクロスキャリアフレームにまっすぐ にぴったりはまっているか、ご確認ください。

初回の使用前に、クリーニングクロスを洗濯していない可能性 があります。

- クリーニングクロスを使う場合は事前に洗って下さい

クリーニングクロスが乾いている可能性があります。

- 充電式コードレスクリーナーのディスプレイ表示をチェッ クしてください。*雫*のシンボルが点滅すると、 タンクに洗 剤を入れ[▶59] なければなりません。

トラブル	考えられる原因とその解決法
	- 初めにクロスを一気に湿らせる機能を使うか、 適性な加湿 レベル [▶ 60]に設定してください。
床にまだ汚れが残ってい る。	クリーニングクロスがひどく汚れている可能性があります。 - クリーニングクロスを交換してください [▶ 64]。
ろうだ。 汚れが 思ったように取れない。	クリーニングクロスがひどく汚れている可能性があります。 - クリーニングクロスを交換してください [▶ 64]。
0	クリーニングクロスが乾いている可能性があります。 - 充電式コードレスクリーナーのディスプレイ表示をチェッ
	- 元電式コードレスノッ・テーのディステレイ表示をデェックしてください。 <i>雫</i> のシンボルが点滅すると、 タンクに洗剤を入れ [▶ 59]なければなりません。
	- 初めにクロスを一気に湿らせる機能を使うか 適性な加湿レベル [▶ 60]に設定してください。
クリーニング後、床の光沢 がなくなっています。	前回のクリーニング洗剤やケア製品の残りが床に残っている可 能性があります。
	まず初めに床が完全に乾くまで待ち、乾いたクロスを使用し、洗剤又はケア製品の残りを拭き取ってください。
	このクリーニングプロセスで水と新しいクロスを使って (必要があれば、何度もクロスを交換する)、状態がよく なるまで繰り返してください。
	何の改善も見られないときには、床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーとのクリーニングを続ける前に、徹底したクリーニングを行ってください。
洗浄液が 均等についていない。 ◆	タンクが空になっている可能性があります。
	充電式コードレスクリーナーのディスプレイ表示をチェックしてください。売のシンボルが点滅すると、タンクに洗剤を入れ [▶ 59]なければなりません。
	- 初めにクロスを一気に湿らせる機能を使うか 適性な加湿レベル [▶ 60]に設定してください。
床がびちょびちょになる。	- 床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーを ドライモード [▶60]に設定してください。
	- まず自動ウェット機能を使わずに、床が乾いたと思うまで クリーニングを続けてください。
	- それから床拭き/吸引兼用ハードフロアクリーナーを 加湿レベル 1 [▶ 60]にしてください。新しく湿度を補充するには 2,3秒かかります。

Kobold PB7 寝具・布製品用 電動パワーブラシとコーボルト MP7/MR7 マットレスクリーニングセット

注意



電動部分で怪我をする恐れあり!

電動部分で怪我をする危険があります。

- 付属アタッチメントの付け替え、クリーニング、メンテナンス作業前に は常に充電式コードレスクリーナーの電源を切ってください。
- 付属品の付け替え、お手入れ、メンテナンス作業前には充電式コードレスクリーナーからアタッチメントを取り外して下さい。
- 電動部分と距離をとってください。
- 振動部分には絶対に指で触れないでください。
- アタッチメントなしで寝具・布製品用パワーブラシを扱わないでください。
- 寝具・布製品用電動パワーブラシが作動中にマットレスクリーニング用のアタッチメントを取り外さないでください。

トラブル

考えられる原因とその解決法

寝具・布製品用 電動パ ワーブラシが作動しま せん。 充電式コードレスクリーナーのスイッチが入っていない可能性が あります。

- 充電式コードレスクリーナーのスイッチを入れてください。 充電式コードレスクリーナーに問題がある可能性があります。
- エラーコードによる問題を解決するには、エラーコードのトラブルシューティング [▶ 91] をご覧ください。

フィルターバック の表示が点滅する。 しかし 実際にはフィルターバックは一杯ではない。 床の繋ぎ目と隙間を吸引すると、フィルターバックは交換する必要がなくても、「フィルターの交換」のシンボルが光る可能性があります。

- クリーニング時にノズルを軽く前後に動かしてください。



電動パワーブラシが変 形しているか、もつれ ています。 フリンジや生地が吸引されて、ブラシ部分が無理に引っ張られた可能性があります。

- 吸引アタッチメントを交換してください。

電動パワーブラシが回 転しなくなっていま す。 充電式コードレスクリーナーのスイッチが入っていない可能性が あります。

- 充電式コードレスクリーナーのスイッチを入れてください。 吸引カバーが正しく装着されていない可能性があります。
- 吸引カバーをカチッと音がするまでしっかり装着してください。

ブラシをブロックするゴミか物体が吸い込まれた可能性があります。

考えられる原因とその解決法

- 充電式コードレスクリーナーのスイッチをオフにして下さい。
- 寝具・布製品用電動パワーブラシを充電式コードレスクリーナーから取り外してください。
- 吸い込まれたゴミや物体を取り除いてください。
- 寝具・布製品用電動パワーブラシを再び充電式コードレスクリーナーに装着してください。

ラベニアをしみ込ませる間は寝具・布製品用電動パワーブラシのスイッチを切っておきます。

寝具・布製品用 電動パワーブラシに圧力をかけた可能性があります。マットレスフレッシュナーキット上を力を入れて作業すると、寝具・布製品用電動パワーブラシはマットレスを損害から守るため、自動的に止まります。

- 充電式コードレスクリーナーのスイッチを切ってから再び入れ 直し、その後電動パワーブラシでお掃除を続けて下さい。

対処方法を実行しても改善が見られない場合には、フォアベル クの カスタマーサービス [▶ 106]にご連絡ください。

14 保証

保証書:保証書は必ず「お買い上げ日」「商品名」などをお確かめいただき、保証内容をよくお読み の上、大切に保管してください。

保証内容:保証期間並びに内容は保証書に明記されています。 但し、消耗品の定期的な交換は無償保証の対象外になります。 保証期間が過ぎた場合はカスタマーサービスセンターにご相談 ください。ご要望により有料修理を承ります。

15 廃棄処理

15.1 電気電子機器の廃棄処理



シンボルの意味: お買い上げの製品における電子・電気付属品を破棄される際はお住まいの自治体のルールに従って処理してください。

15.2 充電式バッテリーの廃棄処理

リチウムイオン電池には環境に害をおよぼす恐れのある物質が含まれています。クリーナーの廃棄前には充電式バッテリーをクリーナーから取り除かなければなりません。充電式バッテリーは絶縁処理をした物のみ廃棄処理が可能となります。充電式バッテリーの接点は決して金属と接触させないでください。また、廃棄する前にテープで隔離する必要があります。



バッテリーまたは充電式バッテリーにある×マーク付きゴミ箱のシンボルは、バッテリー/充電式バッテリーを家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを意味します。

古いバッテリーと充電式バッテリーを分別収集することで、適切なリサイクルが可能になり、環境と人間の健康への悪影響を避けることができます。

使用済みのバッテリーと充電式バッテリーは家庭ごみとして廃棄せず、お住まいの自治体のルールに従って処理してください。

15.3 プレミアムフィルターバックの処理方法

ゴミを含んだ使用後のフィルターバックはお住まいの自治体の ルールに従って処理してください。

15.4 梱包材の廃棄

梱包材は弊社製品の一部であり、輸送時の故障を防ぐと同時に 損傷発生のリスクを抑える役割を果たしています。このため、 開封後も梱包材を保管頂く事を推奨しております。保証期間内 だけでなく、保証期間終了後も修理等でカスタマーサービスへ 製品を送る必要が生じた場合には、お届け時に使用されていた 梱包材を用いることによって運送時の損傷を格段に抑えること が出来ます。

ただどうしても梱包材の廃棄処分をご希望される場合には住ま いの自治体のルールに従って処分してください。

16 アフターサービス

お問合せ先:

コーボルトジャパン カスタマーサービスセンター

サービスホットライン/電話:0120-26-8888

www.vorwerk.co.jp

17 製造会社

Vorwerk Elektrowerke GmbH & Co. KG

Mühlenweg 17-37

42270 Wuppertal

Deutschland (ドイツ)

18 コンプライアンス宣言

フォアベルク社は Kobold VK7 充電式コードレスクリーナーがガイドライン2014/53/EU に従っているものとみなします。EUコンプライアンス宣言の全文は、以下のウェブアドレスで入手可能です: